取扱説明書

DVR-NS04HE (E_Ver. 1.0_100402_N)

デジタル・ビデオ・レコーダー

H.264 Video Compression Digital Video Recorder

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

【はじめに】

DVR-NS04HE をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書および本書に記載されているソフトウェア、ハードウェアは著作権法により保護されます。
したがって、著作権法内で一般的な使用のためのコピーを除いて、株式会社ダイワインダストリの許可なしの本書の一部または全部のコピー、再印刷、他国語への翻訳などはできません。
仕様および外観は、性能改善等により予告なく変更することがあります。

【商品の保証について】

この商品の保証期間はお買い上げ日から1年間であります。但し、下記の場合は保証期間内であっても保証対象外になります。

- お客様の取扱上の不備により生じた不具合の場合
- お客様から商品に加工・交換などが行われた場合
- 定格電源以外の電源をお使いの場合
- 火災・地震・洪水・落雷などの天災により生じた不具合の場合
- 消耗品(ハードディスクなど)の交換の場合

【安全のため必ずお守りください】

⚠ 警 告

- 煙が出ている、変な音やにおいがするなどの異常状態のまま使用しない
- 電源コードを傷つけない
- 電源プラグやコンセントにほこりなどを付着させない
- 分解したり、改造しない
- 内部に異物を入れない
- 接続する機器の上に、水などの入った容器を置かない
- ぬらさない
- 雷が鳴り出したら使わない
- 不安定な場所に設置しない
- 衝撃や振動を与えない
- 爆発の危険があるところでは使わない

⚠ 注 意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらない
- ぬれた手で電源プラグをさわらない
- 上に乗らない
- コード類は正しく配線する
- 接続する機器の上に重いものを置かない
- 電源プラグをコンセントに接続したまま移動させない
- 電源プラグをコンセントに接続したままお手入れしない
- 通風孔や放熱ファンをふさがない
- 急激な温度・湿度変化の場所に置かない

※ ご 注 意 ※

【ネットワーク設定に関するお問い合わせについて】

お問い合わせ頂いた内容によっては、弊社技術者が、直接設置場所にお伺いし対応させて頂きます。
その場合には、別途費用が発生致します。詳細についてはお問い合わせ下さい。

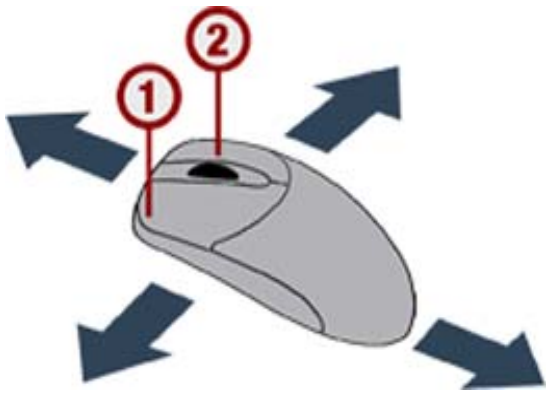
■ 製品および付属品の構成

次の部品が入っているかをご確認ください。

DVR本体	
クライアントCD	
リモコン	
リモコン用の電池1.5V（単4形 x 2個）	
取扱説明書(本書)	
ビデオケーブル（BNC-P/BNC-P）1本	（約1m）
電源ケーブル＆アダプタ(DC12V, 5A)	

■ マウスの基本操作

① をクリック ： 項目を選択(SELECT)
② をクリック ： 前画面に戻る(ESC)
① をダブルクリック ： サブメニューに入る



■ 仕 様

映像	入力	チャネル数,入力レベル	4CH BNC,Composite － 1.0Vp-p
		信号方式	NTSC/PAL
		映像ロス検知	可能
	出力	メインモニタ出力	1CH BNC,1CH VGA:選択可能
		信号方式	NTSC/PAL & VGA
音声	入力 & 出力		4CH LINE入力 & 1CH LINE出力
	音声コーデック		G.711(ADPCM)
アラーム	センサー入力(NC/NO 選択可能)		4
	アラーム出力		1アラーム出力
録画	圧縮方式		H.264
	複数同時操作		4種(再生,録画,ネットワーク,バックアップ)同時操作可能
	解像度	NTSC	704×480,704×240,352×240
	フレームレート		30fps-704×480/,60fps-704×240/,120fps-352×240
	品質		ネットワーク画質,標準画質,中画質,高画質,最高画質
	モード		常時録画,モーション録画,センサー録画,スケジュール録画,録画しない
	モーション検知		全領域,検出枠
	イベント前記録		イベント後 1fps 5秒間
	イベント後記録		イベント後 10～30秒の範囲で設定可能
表示	フレームレート		NTSC 60fps/ch
再生	同時画面数		1若しくは4分割画面
	再生スピード	1チャネル	×2,4,8
		4チャネル	×2,4
	検索モード		タイムライン,イベント, 先頭映像検索, 最終映像検索 ,日時指定検索,ログ,キャプチャーリスト
録画装置	HDD	インターフェース	Serial ATA I
		1HDD容量	500GB若しくは1TB
		内部HDD数	1
	ファイルシステム		NaFS
	バックアップ	USBフラッシュ デバイス	動画 及び 静止画
		ネットワーク	動画 及び 静止画
ユーザインターフェース	メニュー表示		Graphical User Interface
	入力方法		フロントボタン,リモートコントロール,マウス
	PTZFコントロール		1 RS485
ネットワーク	ダイナミック DNS		可能(無料 DDNS)
	ネットワークインターフェース		10/100 base-TX Ethernet(RJ-45)
ネットワークアクセス	クライアントソフトウェア(1:1)		ライブ,検索,バックアップ,PTZFカメラコントロール
	WEBビューア(1:1)		ライブ,検索,バックアップ,PTZFカメラコントロール
	マルチサイト モニタリングシステム(1:n)		ライブ,検索,バックアップ,PTZFカメラコントロール
付加機能	内部ブザー		アラーム,モーション,Video Loss,HDDエラー時に発報
	ソフトウェアアップグレード		USBフラッシュドライブから可能
	電子透かし		可能(専用ビューア)
電源供給	電源		DC 12V 3A 約25W
動作環境	温度		5～40℃
	湿度		30～90% RH
重量	単体(総重量)		1.6Kgs(3.1Kgs)
寸法	単体寸法(W×H×D)		340mm×262mm×63mm

※ 仕様および外観は、性能改善などにより予告なく変更することがあります。

■ 目　次

■ 製品および付属品の構成 3
■ マウスの基本操作 3
■ 仕 様 4
1. 主な特長 7
2. 各部の機能と接続 8
2.1 前面パネル 8
2.2 背面パネル 9
通常モニタ出力： VIDEO OUT， VGA出力(PC用モニタ)：VGA の切替方法 9
2.3 リモコン 10
3. 設定のしかた 11
3.1 設定メニューの基本操作 11
●設定メニューの構成 12
3.2 画面設定 13
3.3 録画設定 15
● 録画モードの種類 16
● スケジュール設定 16
3.3 デバイス設定 18
● アラーム出力設定 19
● コントローラー設定 21
● モーション検出領域設定 21
● リモコンIDの操作 21
3.4 録画装置設定 22
3.4 システム設定 23
● TIME MISMATCHが発生した場合は 26
3.5 セキュリティー設定 27
3.6 ネットワーク設定 28
● ネットワークタイプの設定 29
● ネットワーク設定の保存 30
● DDNSサーバへの登録 30
3.7 設定管理 32
4. ライブ監視 34
4.1 ライブ画面の説明 34
5. 検索と再生 37
5.1 検索メニューの基本操作 37
● 検索画面に入るには 37
● 再生時の操作 38
5.2 タイムライン検索 38
● タイムラインからデータを検索するには 39

5.3 イベント検索 39
5.4 先頭映像検索 40
5.5 最終映像検索 40
5.6 日時指定検索 40
5.7 ログの検索 40
5.8 キャプチャーリスト 41
6. PTZカメラの操作 **42**
6.1 PTZカメラの接続 42
6.2 PTZカメラの操作 42
7. バックアップ **44**
7.1 静止画のバックアップ 44
● ライブ監視中の静止画バックアップ 44
● 再生中の静止画バックアップ 44
7.2 動画のバックアップ 45
● 再生中の動画バックアップ (設定範囲:1～60分) 45
● 動画の形式と再生 46
● キャプチャーリストからのバックアップ 47
8. ネットワークで操作するには **48**
8.1 動作環境 48
8.2 クライアントソフトのインストール 48
8.3 ライブモードの構成と各部のはたらき 50
8.4 検索モードの構成と各部のはたらき 51
● 動画のバックアップ 52
8.5 設定のしかた 53
● セットアップについて 53
● セットアップ以外の設定について 56
● 遠隔設定について 56
9. Webブラウザで監視するには **57**
9.1 IEからの接続 57
9.2 画面の操作 57
● ライブモード 57
● 検索モード 58
10. 録画時間目安表 **60**
11. 外形図 ・ 保証書 **61**

1. 主な特長

【H264動画圧縮】

◆ 弊社従来品(MPEG-4動画圧縮　品番:DVR-NS04)と比較してより細かく録画画質を設定することが可能になり、解像度と画質によっては、録画できる時間が長くなりました。
又、動画がより滑らかでクリアです。

【同時操作対応】

◆ 録画,再生,ネットワークアクセス及び保存が同時に操作可能です。

【USBフラッシュデバイス対応】

◆ 録画データの保存やファームウェアのアップグレードが簡単に短時間で行えます。

【シンプルな操作画面】

◆ GUI(グラフィカルユーザーインターフェース)によりフロントパネルの操作ボタンだけでなく、画面上のクリックのみでリモコンやマウスで操作することが可能です。

【CH個別設定対応】

◆ CH毎に設定や操作が可能です。

【モーション検知録画対応】

◆ モーション検知機能を搭載しておりますので録画時間を節約することができます。
又、モーション検知領域を設定することもできます。

【AVI形式及び専用バックアップファイル形式による録画保存】

◆ AVI形式で保存した録画データはWindows Media Player等で再生できます。
一方、専用バックアップファイル形式で保存した録画データは、本装置からダウンロードされる専用プレーヤーでなければ再生できないため、セキュリティを高める事ができます。

【クライアントソフト、Webビューアなどを利用したネットワーク接続】

◆ 遠隔監視を簡単な操作でサポートするソフトが充実しています。

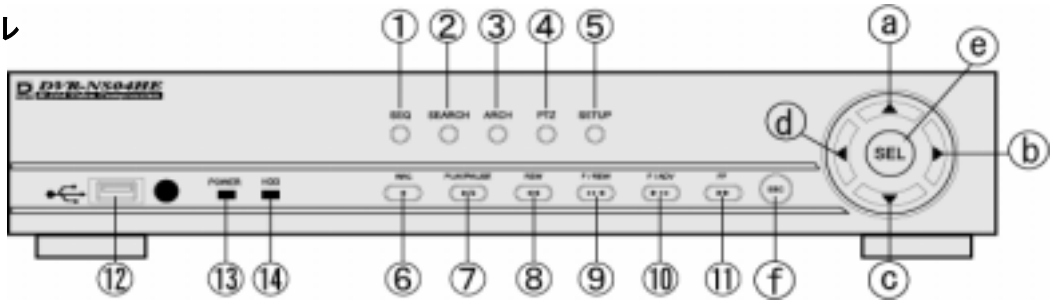
【無料Dynamic DNS】

◆ 固定IPアドレスを用意できない環境においても、本無料Dynamic DNSに登録して頂ければ、インターネット経由で遠隔監視を行うことができます。

※ 無料Dynamic DNSは予告無くサービスを停止、終了する場合があります。
信頼性の高い運用が要求される環境では、固定グローバルIPアドレスの取得を推奨します。

2. 各部の機能と接続

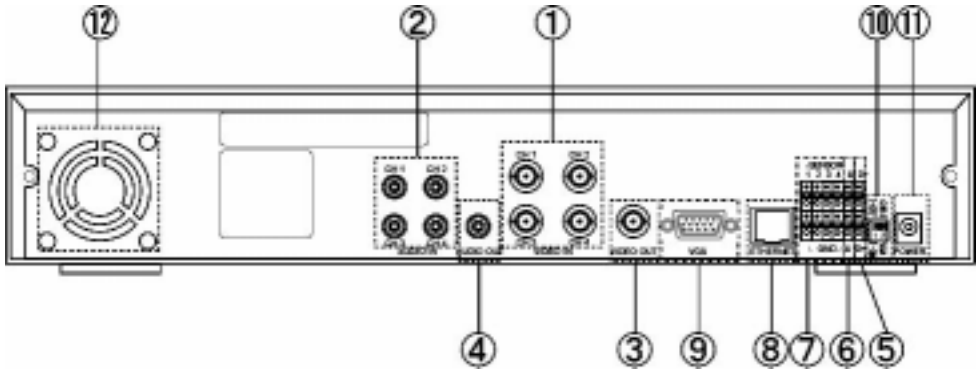
2.1 前面パネル



番号	ボタン,LED名	説明
1	SEQ	フルスクリーンモード時に画面自動切換えを開始/停止します。
2	SEARCH	検索メニューを立ち上げます。
3	ARCH	ライブ又は録画再生モード時にバックアップを開始します。
4	PTZ	PTZカメラ動作を制御するメニューを立ち上げます。
5	SETUP	メインメニューを立ち上げます。
6	REC	マニュアル録画を開始/停止します。
7	PLAY/PAUSE	録画再生モード時に再生開始/一時停止します。
8	REW	録画再生中に1x,2x,4x及び8xで巻き戻し再生します。
9	F/REW	録画再生中:再生画面を60秒戻します。 一時停止中:再生画面を1フレーム戻します。
10	F/ADV	録画再生中:再生画面を60秒進めます。 一時停止中:再生画面を1フレーム進めます。
11	FF	録画再生中に1x,2x,4x及び8xで再生します。
12	USB port	データ,設定保存や設定読み込みの際にUSBフラッシュデバイスを接続します。
13	POWER	ACアダプタが接続され、正常に電源が供給されている時に緑色点灯します。
14	HDD	録画及び再生中に赤色LEDが点滅します。

番号	方向ボタン	説明
a	▲	設定中:カーソルを上に移動します。 ライブ/録画再生中:カメラ1を選択します。 パスワード入力時:【1】を入力します。
b	▶	設定中:カーソルを右に移動します。 ライブ/録画再生中:カメラ2を選択します。 パスワード入力時:【2】を入力します。
c	▼	設定中:カーソルを下に移動します。 ライブ/録画再生中:カメラ3を選択します。 パスワード入力時:【3】を入力します。
d	◀	設定中:カーソルを左に移動します。 ライブ/録画再生中:カメラ4を選択します。 パスワード入力時:【4】を入力します。
e	SEL	ライブ/録画再生中:フル/4分割画面切り換えます。 その他:メニュー項目決定や設定値保存します。
f	ESC	前メニュー画面に戻る際又は録画再生を終了する際に使用します。

2.2 背面パネル



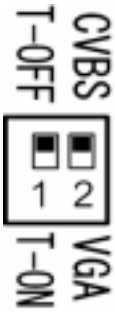
番号	コネクタ名及びファン	説　　明
1	VIDEO IN	映像入力用端子です。
2	AUDIO IN	オーディオ入力用端子です。
3	VIDEO OUT	映像出力用端子です。
4	AUDIO OUT	オーディオ出力用端子です。
5	RS-485	PTZカメラ等外部機器制御用RS-485端子です。
6	ALARM OUT	外部アラーム出力端子です。
7	SENSOR IN	外部センサー入力端子です。
8	ETHERNET	ETHERNET用J-45コネクタです。
9	VGA	VGA出力端子です。
10	TERMINATION ON/OFF CVBS/VGA	RS-485終端抵抗設定SWです。 映像出力フォーマット切り換えSWです。
11	POWER	DC12V入力用端子です。
12	冷却用ファン	装置内部を冷却します。

● 通常モニタ出力： VIDEO OUT, VGA出力(PC用モニタ)：VGA の切替方法

VIDEO OUTとVGA の切替は、⑩TERMINATION スイッチを下記の様に設定して下さい。

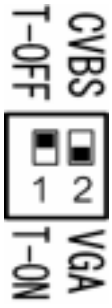
通常モニタ出力するには

VIDEO OUTにケーブルを接続して、出力選択スイッチを右図のように両方共上の位置に設定して下さい。



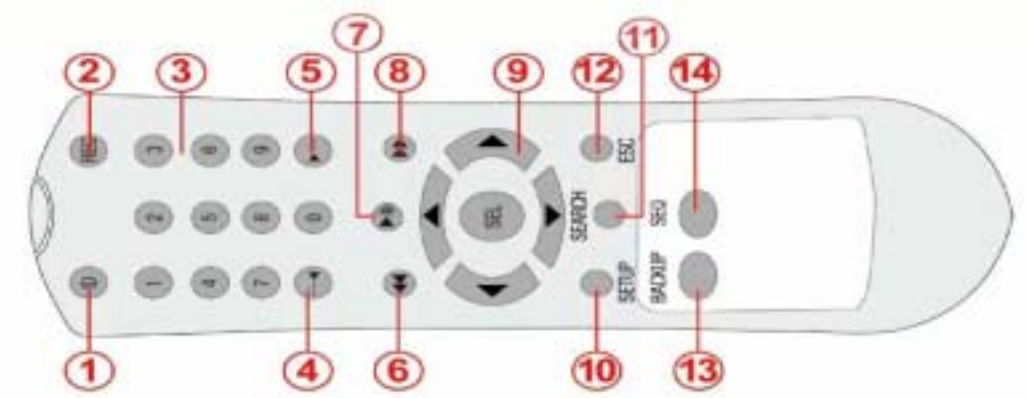
VGA出力(PC用モニタ)するには

VGAにケーブルを接続して出力選択スイッチを右図のように2のスイッチを下の位置に設定して下さい。



本機背面の出力選択スイッチを切替えたら必ず本機を再起動させてください。

2.3 リモコン



番号	ボタン,LED名	説　　明
1	ID	DVRにリモートコントロールIDを設定する際に番号をセットする前に押します。
2	REC	手動録画を開始/停止します。
3	Number	CH（1,2,3及び4）番号又はDVR ID番号を入力します。
4	F/REW	録画再生中：再生画面を60秒戻します。 一時停止中：再生画面を1フレーム戻します。
5	F/ADV	録画再生中：再生画面を60秒進めます。 一時停止中：再生画面を1フレーム進めます。
6	REW	録画再生中：再生画面を60秒戻します。 一時停止中：再生画面を1フレーム戻します。
7	PLAY/PAUSE	録画再生モード時に再生開始/一時停止します。
8	FF	録画再生中に1x,2x,4x及び8xで再生します。
9	▲	設定中：カーソルを上に移動します。 ライブ/録画再生中：カメラ1を選択します。 パスワード入力時：【1】を入力します。
9	▶	設定中：カーソルを右に移動します。 ライブ/録画再生中：カメラ2を選択します。 パスワード入力時：【2】を入力します。
9	▼	設定中：カーソルを下に移動します。 ライブ/録画再生中：カメラ3を選択します。 パスワード入力時：【3】を入力します。
9	◀	設定中：カーソルを左に移動します。 ライブ/録画再生中：カメラ4を選択します。 パスワード入力時：【4】を入力します。
9	SEL	ライブ/録画再生中：フル/4分割画面切り換えます。 その他：メニュー項目決定や設定値保存します。
10	SETUP	メインメニューを立ち上げます。
11	SEARCH	検索メニューを立ち上げます。
12	ESC	前メニュー画面に戻る際又は録画再生を終了する際に使用します。
13	BACKUP	ライブ又は録画再生モード時にバックアップを開始します。
14	SEQ	フルスクリーンモード時に画面自動切換えを開始/停止します。

3. 設定のしかた

3.1 設定メニューの基本操作

【設定画面に入るには】

① マウスを利用してメイン画面の「メニュー」→「設定」をクリックするか、前面パネルの「SETUP」ボタンを押します。

② ログイン画面が表示されると、コントロールボタン(◀▶)でユーザータイプを 選択し、「SEL」ボタンを押します。
設定メニューに入る時のパスワード設定は設定メニューの「セキュリティー」メニューで変更できます。

③ パスワード項目がハイライトされると同時にパスワード入力画面が表示されます。コントロールボタン(▲▼◀▶)で
パスワードを入力し、「確認」をクリックすると、設画面が表示されます。

※出荷時のパスワードの初期値は「1111」です。工場出荷時に戻した場合は「11111111」に戻ってしまいますのでご注意ください。

システムの安全のため、御購入後、パスワードを変更することをお勧めします。
パスワードは設定メニューの「セキュリティー」メニューで変更できます。

【設定メニューを操作するには】

① コントロールボタン(▲▼)で設定メニューの左側のアイコンを選択すると、下位設定メニューが表示されます。

② 下位設定メニューが表示されている状態で「SEL」ボタンを押すと、その設定メニューが操作できるようになります。

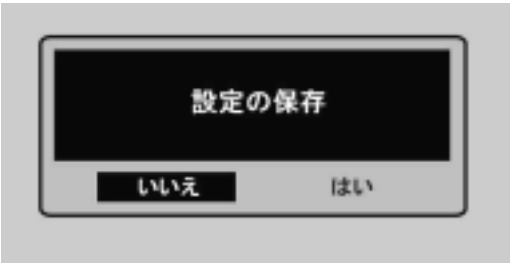
③ コントロールボタン(▲▼)で設定したい項目に移動し、コントロールボタン(◀▶)で設定値を変更します。

※ ↓マークがある項目で「SEL」ボタンを押すと、下位画面が表示されます。

④ 上位メニューに戻り、他のアイコンを選択したい場合は、「ESC」ボタンを押します。

【設定を保存するには】

①設定が完了し、設定メニュー画面を閉じるために「ESC」ボタンを押すと、設定保存の画面が表示されます。



②「はい」を選択すると変更した設定内容が保存されます。

③「いいえ」を選択すると変更した設定内容が無効化されます。

●設定メニューの構成

画面表示
OSD表示
画面自動切換え
画面自動切換え周期
OSD表示コントラスト
チャンネル
ネーム
映像隠し
輝度
コントラスト
色合い
彩度
録画
解像度
チャンネル
録画フレーム
画質
録画モード
センサー録画
イベント前記録
イベント後記録
録音
スケジュール
デバイス
アラーム出力
PTZ
コントローラー
チャンネル
モーション領域
モーション感度
ボタン音
リモコンID
センサー
タイプ
録画装置
上書き
HDDフォーマット
HDD情報
動画バックアップ設定
記録保存日数制限
記録保存日数
SMART情報
システム
DVD ID
システム情報
言語(LANGUAGE)
日付の形式
日時設定
クライアントアクセス
帯域制限
メール送信
NTP
セキュリティー
使用者権限
使用者パスワード
ネットワーク
ポート番号
WEBポート
ネットワークタイプ
DDNS
DDNSサーバー名
DDNS更新周期
設定管理
USBへ設定保存
USBから設定読込
使用者設定を戻す
工場出荷時に戻す

3.2 画面設定

ライブ画面の表示に関する設定を行います。

項 目 の 説 明	
OSD	画面情報を表示するかどうかを設定します。(選択肢:ON/OFF) コントロールボタン(◀▶)でONを選び、「SEL」ボタンを押すとOSD位置選択画面が表示されます。コントロールボタン(▲▼)でOSDバーの位置を指定できます。 OFFを選択すると、日付やチャンネル名などの画面情報が表示されません。

画面自動切換	画面自動切換えを設定します。(選択肢:ON/OFF) ON:「画面自動切換周期」で設定した時間で画面自動切り換えを行います。 OFF:画面自動切り換えを行いません。
画面自動切換周期	画面自動切換えの周期を設定します。(設定範囲:1～60秒)
データ表示コントラスト	表示文字のコントラストを調整します。(設定範囲:20～100%)

チャンネル	下位項目(チャンネル名、映像隠し、輝度、コントラスト、色合い、彩度)を設定するチャンネルを指定します。 「SEL」ボタンを押すと、「画面表示」画面が表示され、すべてのチャンネルと設定項目を一目で見ることができます。 コントロールボタン(▲▼◀▶)で変更したい項目に移動し、「SEL」ボタンを押すと、項目の設定ができます。コントロールボタン(◀▶)で設定値を変更し、「SEL」ボタンか「ESC」ボタンを押すと設定値が保存されます。
チャンネル名	チャンネル名を設定します。
映像隠し	画面に出力されるライブ映像を隠すかどうかを選択します。(選択肢:ON/OFF) ON:選択したチャンネルのライブ画面を隠します。 OFF:選択したチャンネルのライブ画面を表示します。
輝度	映像の明るさを調節します。(設定範囲:0～100)
コントラスト	画像の暗い部分と明るい部分を最適調節します。(設定範囲:0～100)
色合い	画像の色合いを調節します。(設定範囲:0～100)
彩度	画像の彩度を調節します。(設定範囲:0～100)

3.3 録画設定

録画に関する設定を行います。

項 目 の 説 明	
解像度	録画の解像度を設定します。　選択肢：704x480/ 704x240/ 352x240
チャンネル	下位項目(記録レート、画質、録画モード、センサー録画、イベント前記録、 イベント後記録、音声記録、スケジュール設定)を設定するチャンネルを指定します。 「SEL」ボタンを押すと、「画面表示」画面が表示され、すべてのチャンネルと設定項目の一部を一目で見ることができます。 コントロールボタン(▲▼◀▶)で変更したい項目に移動し、「SEL」ボタンを押すと、項目の設定ができます。コントロールボタン(◀▶)で設定値を変更し、「SEL」ボタンか「ESC」ボタンを押すと設定値が保存されます。
録画フレーム	録画のフレームレートを設定します。 設定可能な記録レートの合計値は、解像度の設定によって次のように制限されます。 704 × 480：30fps,704 × 240：60fps,352 × 240：120fps 合計値が制限を越えた場合は、他チャンネルの記録レートは設定できません。
画質	録画画質を選択します。(選択肢：ネットワーク/標準/中/高/最高) ネットワークが最低画質で最高が最高画質です。
録画モード	録画モードを選択します。(選択肢：常時録画/モーション録画/センサー録画/ スケジュール録画/録画しない) ※ 各モードの詳しい説明は「3.3.1.録画モードの種類」をご参照ください。
センサー録画	各チャンネルに4つのセンサーが設定できます。

イベント前記録	内蔵モーションセンサーや外部センサー検知の発生の約3秒前から録画を開始するかを選択します。(選択肢:ON/OFF) ON:イベント前記録を行います。　OFF:イベント前記録を行いません。
イベント後記録	センサー検出後からの録画時間を指定します。(設定範囲:10～30秒)
音声記録	ライブ映像の音声を録音するかを設定します。(選択肢:ON/OFF) ON:音声記録を行います。　OFF:音声記録を行いません。
スケジュール設定	「SEL」ボタンを押すと表示されるスケジュール画面でスケジュール設定を行います。 1時間単位で設定することにより各チャンネルのスケジュール録画を設定することができます。 ※ 詳細は次頁 「スケジュール設定」をご参照ください。

● 録画モードの種類

録画する条件を6つの録画モードから選択できます。

常時録画　：DVRの電源を入れている間は常時録画を行います。

モーション録画　：DVR内蔵のモーションセンサーが反応すると録画を行います。

センサー録画　：DVRの外部センサー入力端子(SENSOR IN)に接続されたセンサー機器などが反応すると録画を行います。

スケジュール録画　：録画設定メニューのスケジュール設定項目で設定されたスケジュール通りに録画を行います。

録画しない　：録画を行いません。

手動録画　：DVRのフロントパネルの「REC」ボタンかリモコンの「REC」ボタンを押すと、各チャンネルの録画モードを無視し、リアルタイムで録画を開始します。

● スケジュール設定

①録画設定メニューで「録画モード」項目をスケジュール録画に設定し、「スケジュール設定」項目に移動し、「SEL」ボタンを押すとスケジュール設定画面が表示されます。

② コントロールボタン(▲▼)で毎日または各曜日を選択し、コントロールボタン(◀▶)で時間帯を選択し、「SEL」ボタンを繰り返しを押すと録画モードが選択できます。

各アイコンは下記のような録画モードを示します。

アイコン	録画モード
C	常時録画
S	センサー録画
M	モーション録画
ー	録画しない

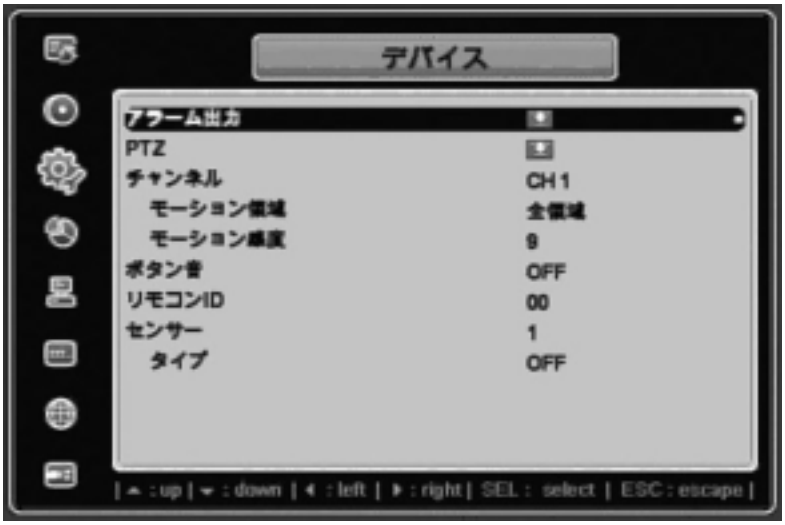
- 毎日同じ設定にしたい場合は、「ALL」にカーソルを移動させ、「SEL」ボタンを繰り返し押すと毎日同じ録画モードが設定できます。
- 1日中同じ設定にしたい場合は、曜日にカーソルを移動させ、「SEL」ボタンを繰り返し押すと1日中同じ録画モードが設定できます。
- 毎日指定した時間だけを同じ設定にしたい場合は、カーソルを「ALL」に移動させ、コントロールボタン(◀▶)で指定する時間にカーソルを移動させ、「SEL」ボタンを繰り返し押すと指定時間だけ毎日同じ録画モードに設定できます。

コピー元 ： 現在の選択チャンネルです。

コピー先 ：現在の選択チャンネルに設定したスケジュールを他のチャンネルにコピーします。

3.3 デバイス設定

センサーやPTZカメラなどの外部装置に関する設定を行います。

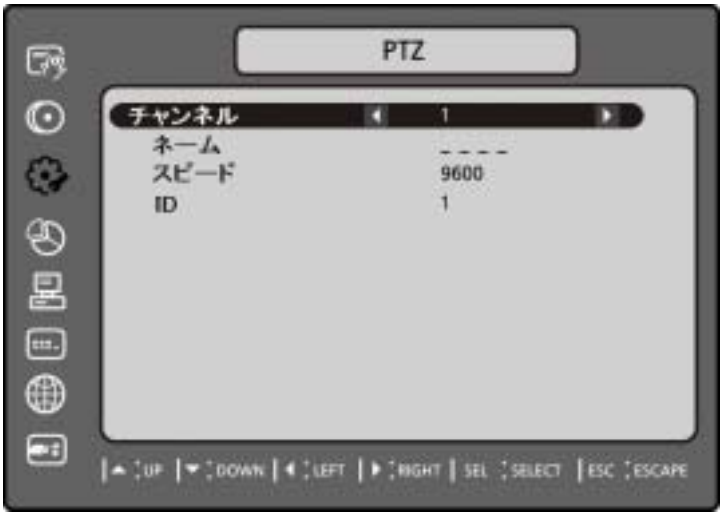


項 目 の 説 明	
アラーム出力	「SEL」ボタンを押すと表示されるアラーム出力画面で外部センサー、モーション検知、VIDEO LOSS、HDDエラーによるアラーム出力を設定します。
PTZ	「SEL」ボタンを押すと表示されるカメラコントロール画面でPTZカメラのスピード、カメラ名、ID などを設定します
チャンネル	モーション領域を設定するチャンネルを指定します。
モーション領域	モーション検出の領域を指定します。(選択肢：全領域/検出枠)検出枠を選び、「SEL」ボタンを押すと表示される検出枠設定画面で、モーション検出する領域を設定します。
モーション感度	モーション検出の感度を選択します。(設定範囲：1～9) 数字が高くなるほど敏感になります。
ボタン音	本機のパネルのボタン又は、リモコンのボタンを押す時、音を出力するかどうかを選択します。(選択肢：ON/OFF) ON：操作音が出力されます。 OFF：操作音が出力されません。
リモコンID	リモコンのIDを設定します。(設定範囲：00～99)
センサー	センサータイプを設定するセンサー番号を指定します。(選択範囲：1～4)
センサータイプ	指定した番号のセンサータイプを選択します。(選択肢：OFF/N/OPEN/N/CLOSE) ● N(Normal)/Open：通常はオープン状態で、反応時はクローズ ● N(Normal)/Close：通常はクローズ状態で、反応時はオープン ● OFF： センサー無し

● **アラーム出力設定**

項 目 の 説 明	
アラーム出力	アラーム出力端子番号です。アラーム出力端子は1つですので、変更の必要はありません。
センサー検知	指定した外部センサー入力端子に入力があるとアラーム信号を出力します。 4つまでのセンサー入力端子番号が設定できます。
モーション検知	指定した映像入力端子にモーション検知の入力があるとアラーム信号を出力します。 4つまでのチャンネルが設定できます。
VIDEO LOSS検知	指定した映像入力端子にVIDEO LOSSが発生するとアラーム信号を出力します。 4つまでのチャンネルが設定できます。
アラーム持続時間	アラーム信号の出力時間を設定します。(設定範囲:5～60秒,ALWAYS(リセットまで保持))
エラーアラーム	アラームのその他の出力条件を設定します。(選択肢:OFF/ALL/HDDエラー/VIDEO LOSS)

● PTZ設定　（※ PTZ機能を操作するには、PTZカメラの接続と設定が必要です。）

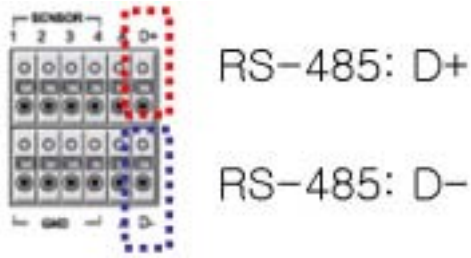


項 目 の 説 明	
チャンネル	下位項目(ネーム、スピード、ID)を設定するチャンネルを指定します。
ネーム	接続しているカメラのプロトコルタイプを選択します。
スピード	通信速度を設定します。(選択肢:2400/4800/9600/14400/19200)
ID	接続しているカメラのIDを設定します。(設定範囲:0～63)

※ 詳しい操作方法はご使用のPTZカメラの取扱説明書をご参照ください。

〔PTZカメラとの接続について〕

PTZカメラのRS-485ケーブルを後面パネルのRS-485ポートに接続します。



メモ :RS-485対応のスピードドームカメラをRS-485端子に接続してください。
カメラがRS-232Cからコントロールされている場合は、RS-485 to RS-232C シグナルコンバーターをご使用下さい

● コントローラー設定

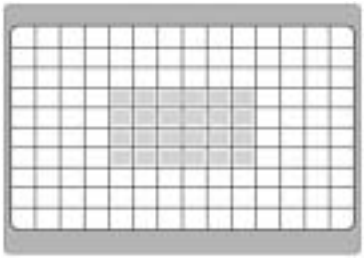
PTZカメラやDVRを操作するためのコントローラーを接続して使用することができます。

項 目 の 説 明	
ネーム	コントローラーを指定します。
スピード	通信速度を設定します。(選択肢:2400/4800/9600/19200)
DVR ID	コントローラーで操作できるDVRのIDを設定します。(設定範囲:0～99)
ID	接続しているコントローラーのIDを設定します。(設定範囲:0/240～254)

※ 詳しい操作方法はご使用のコントローラーの取扱説明書をご参照ください。

● モーション検出領域設定

① デバイス設定画面のモーション領域項目で「検出枠」を選び、「SEL」ボタンを押すと、モーション検出枠の設定画面が表示されます。



検出枠設定画面

② コントロールボタン(▲▼◀▶)でモーションを検知する箇所にカーソルを移動させ、「SEL」ボタンを押すとモーション検出領域に設定されます。モーション検出領域に指定された枠は青色に塗りつぶされます。

③ 繰り返し操作で、モーションを検知する範囲を選択してください。

④ 設定が終了したら、「ESC」ボタンでデバイス設定メニューに戻ります。

● リモコンIDの操作

① デバイス設定メニューの「リモコンID」項目でリモコンIDを設定します。
設定範囲は 00～99 です。 00に設定するとライブ画面にR:Aのアイコンが表示され、どのリモコンでも本機を操作できます。

② 「ESC」ボタン繰り返し押してライブ画面に戻ります。
リモコンIDを00以外の数字に設定した場合、R:Aのアイコンが消え、IDが設定されてないリモコンでは操作できなくなります。

③ リモコンの「ID」ボタンを押し、本機に設定したIDと同じ2桁の数字ボタンを押します。
リモコンにIDが設定されます。

④ 本機とリモコンに設定したのIDが一致すると、ライブ画面にR;**(ID数字2桁)のアイコンが表示され、本機が操作できるようになります。

3.4 録画装置設定

ハードディスクに関する設定を行います。

項 目 の 説 明	
上書き	ハードディスクの容量がいっぱいになったとき、古い映像を削除し、そこに上書きして録画を続けるための設定です。(選択肢:ON/OFF) ON:上書きします。必要な映像はあらかじめ外部メモリーなどにバックアップしてください。 OFF:上書きしません。ハードディスクの容量が不足すると録画を停止します。
HDDフォーマット	内蔵のハードディスクを初期化します。「SEL」ボタンを押すと、「はい」と「いいえ」の選択画面が表示されます。「はい」を選択するとフォーマットをおこない、DVRが再起動します。 ※　すべての記録が失われます。フォーマットをおこなう前に、必要な映像はあらかじめ外部メモリーなどにバックアップしてください。
HDD情報	「SEL」ボタンを押すと、HDDの総容量と残容量，HDDの録画開始時刻と最終録画時刻が確認できます。
動画バックアップ設定	動画をバックアップしている間に、録画を一時的に中止させるかを選択します。 (選択肢:ON/OFF)録画を暫定中止するとバックアップの時間を縮めることができます。
記録保存日数制限	録画記録を保存する期間を制限します。(選択肢:ON/OFF)
記録保存日数	「録画制限」設定がONの場合、録画記録を保存する日数を設定します。(設定範囲:1～90日) ハードディスクには設定した日数だけのデータを残し、それ以上のデータは古い順番で削除されます。
SMART情報	「SEL」ボタンを押すと、SMART情報の画面が表示されます。 **温度感知ブザー** ： 使用中のHDDの温度が指定した基準気温より高くなった場合、警告ブザーを鳴らすかを設定します。(選択肢:ON/OFF) **基準温度**:ブザーを鳴らす温度の基準点を指定します。(設定範囲:50～60℃) **現在使用中のHDD** :現在データを記録しているHDDと、その現在温度を表示します。

3.4 システム設定

DVRのシステムを管理するための設定や、システム情報の確認ができます。

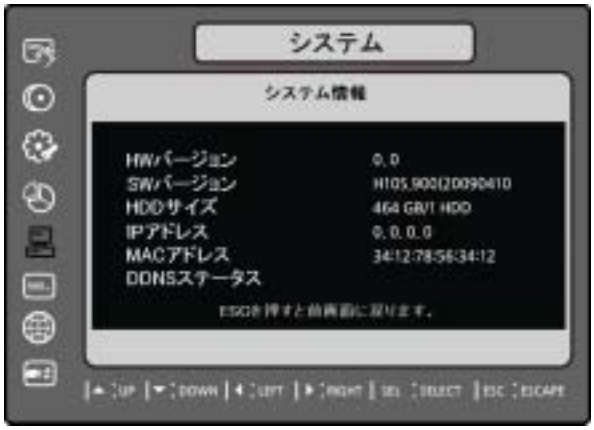
項 目 の 説 明

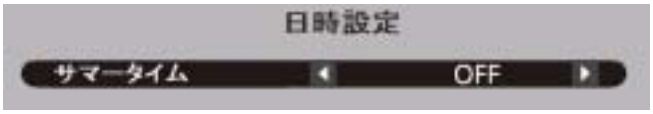
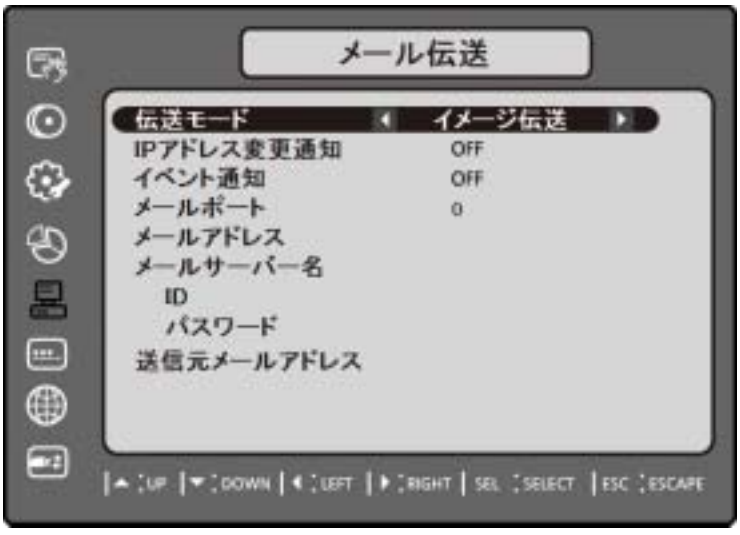
DVR ID

本機を複数接続するときは、各機器に固有の名前を付けることができます。「SEL」ボタンを押し、DVR ID入力画面が表示されます。コントロールボタン(▲▼◀▶)で文字を選択し、「OK」をクリックするとDVR IDが設定されます。

システム情報

「SEL」ボタンを押すと表示されるシステム情報画面からハードウェア・ソフトウェアのバージョン，HDD容量，IPアドレス，MACアドレス，DDNS STATUSなどが確認できます。



言語	表示言語を指定します。
日付の形式	日付表示形式を選択します。 ● 適用例 ： 2000年12月25日の場合。 **YYYY-MM-DD** ： 2000-12-25　　**MM-DD-YYYY** ： 12-25-2000 **DD-MM-YYYY** ： 25-12-2000　　**YYYY/MM/DD** ： 2000/12/25 **MM/DD/YYYY** ： 12/25/2000　　**DD/MM/YYYY** ： 25/12/200
日時設定	「SEL」ボタンを押すと日時設定画面が表示されます。 ① まず、サマータイムを設定します。 （選択肢：OFF/USA/EU/OTHERS） **「OFF」 に設定してください。**  ② コントロールボタン(▼)で日時に移動し「SEL」ボタンを押すと日時入力画面が表示されます。 ③ コントロールボタン(◀▶)で年/月/日/時/分/秒を選び、コントロールボタン(▲▼)で数字を変更することで日時を設定します。 ④ 設定を完了し 「ESC」ボタンを押すと変更日時を適用するかを「はい」か「いいえ」で選択します。 ⑤ 「はい」を選択すると、DVRが再起動し、変更した日時が適用されています。
クライアントアクセス	クライアントソフトの接続を許可するかしないかを選択します。 **ON** ：クライアントソフトからの接続を許可します。 **OFF** ：クライアントソフトからの接続を拒否します。
帯域幅節減	ネットワーク回線が狭帯域幅（ISDN等）の場合にスムーズな伝送を行う為にデータ量を減少させる機能です。広帯域幅（ADSL,VDSL,光）の場合は使用しません。 **ON** ：帯域幅節減します。（データ量を減少させている為、画像が粗くなります。） **OFF** ：帯域幅節減しません。
メール送信	DVRからメールを送信する機能です。（選択肢：ON/OFF） ONを選択し、「SEL」ボタンを押すとメール送信画面が表示されます。 

IP アドレス変更通知 ：DVR の IP アドレスが変更になると通知メールを送信する機能です。
（選択肢：ON/OFF）

イベント通知 ：イベントによるアラームが発生すると通知メールを送信する機能です。
（選択肢：ON/OFF）

送信先 ：「SEL」ボタンを押すと文字表が表示されます。送信先のメールアドレスを入力してください。25 文字まで入力可能。

メールサーバー ：「SEL」ボタンを押すと文字表が表示されます。メールのサーバー名を入力してください。25 文字まで入力可能。

ID ：「SEL」ボタンを押すと文字表が表示されます。メールサーバーに接続するユーザーID を入力してください。25 文字まで入力可能。

パスワード ：「SEL」ボタンを押すと文字表が表示されます。メールサーバーに接続するパスワードを入力してください。25 文字まで入力可能。

送信元 ：「SEL」ボタンを押すと文字表が表示されます。送信先に通知する送信元のメールアドレスを入力してください。25文字まで入力可能。

NTP インターネットまたはLAN上のNTPサーバーを使って時刻合わせを行うための設定です。
（選択肢：ON/OFF） ONを選択し、「SEL」ボタンを押すとNTP画面が表示されます。

NTPサーバーアドレス1 ：「SEL」ボタンを押すと文字表が表示されます。1番目のNTPサーバーアドレスを入力してください。

NTPサーバーアドレス2 ：「SEL」ボタンを押すと文字表が表示されます。1番目のNTPサーバーアドレスを入力してください。

時間帯 ：使用地域のGMT(Greenwich Mean Time)を設定します。
（設定範囲：GMT−12：00～GMT+13：00） 日本国内ではGMT+09：00を選択してください。

接続モード ： NTPサーバーに接続し、時刻合わせを行う時点を設定します。

- 時間ごと: 接続時点に設定した時間ごとに時計合わせを行います。
- 時刻指定 ： 毎日、接続時点に設定した時刻に時計合わせを行います。

接続時点 ：同期する時間あるいは時刻を設定します。（設定範囲：1～24）

例） 数字‘15’に設定した場合、

- 接続モードが時間ごとになっている場合： 15時間ごとにNTP時刻合わせを行います。
- 接続モードが時刻指定になっている場合： 毎日15時にNTP時刻合わせを行います。

● **TIME MISMATCHが発生した場合は**

日時設定メニューから日時を更新してリブートした時、新しい時刻が最終録画時刻より前の時刻であると、TIME MISMATCH が発生します。

① TIME MISMATCH画面には、新しく設定した時刻(SYSTEM TIME)とHDDに記録を行った最終録画時刻(HDD LAST TIME)が表示されます。システムの現在時刻より未来の記録が存在することはシステム的に成立できませんので、現在時刻と最終録画時刻の間にあるデータは消去することになります。

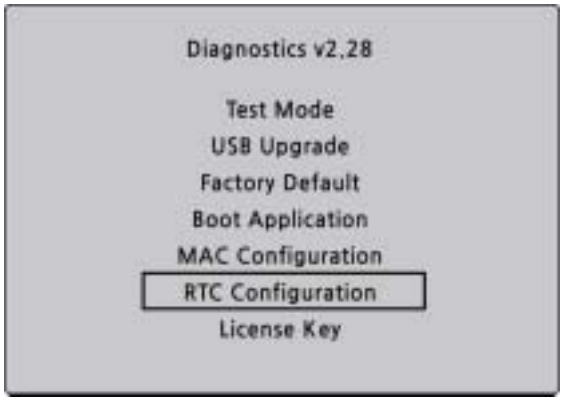
② 選択肢からYESを選択すると、システムの日時を設定した通りに更新し、その日時より後のデータは消去します。

③ 選択肢からGO TEST MODEを選択すると、本当にテストモードに入るかを聞く画面が表示されます。

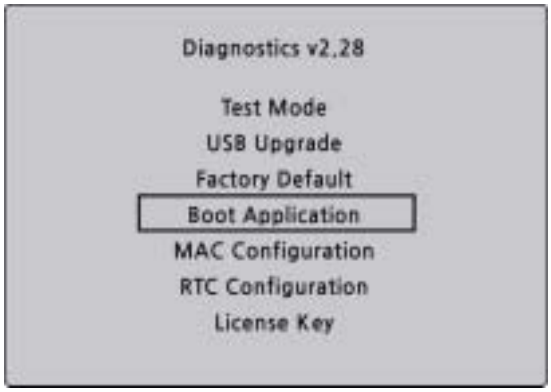
④ ③の画面でNOを選択すると、システムが再度リブートし、①の手順に戻ります。

⑤ ③の画面でYESを選択すると、パスワードの入力画面が表示されます。コントロールボタンの▲を8回押す(1111 1111)と、テストモードに入ります。

⑥ テストモードのメニューから、RTC Configurationに入ると、システムの日時が年/月/日/時/分/秒で表示されます。コントロールボタン(◀▶)で数字を変え、日時を再設定します。HDDの記録データを失いたくない場合はここでHDD LAST TIMEより後の日時に設定してください。設定が完了すると、「SEL」ボタンを押して全画面に戻ります。

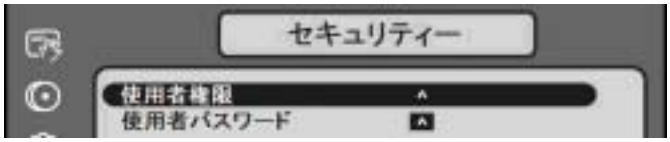


⑦Boot Applicationを選択するとシステムがリブートし、日時がテストモードで変更した通りに更新されます。



3.5 セキュリティー設定

保安のためのパスワードやアクセス権限などが設定できます。

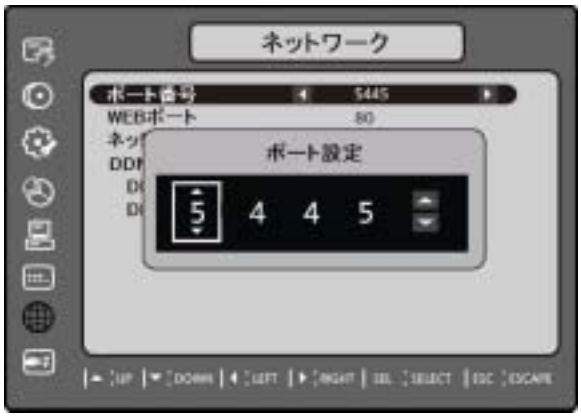


項 目 の 説 明	
使用者権限	各使用者が操作できるメニューの範囲を設定します。設定できるメニューはSetup，再生，カメラコントロール，録画OFF，電源ON/OFF，ネットワークです。 ONを選択し「SEL」ボタンを押すと使用者権限画面が表示されます。 **パスワード入力** ： 各メニューを操作する時、パスワードの入力が必要かを設定します。「SEL」ボタンを押すごとにOとXが切換わります。 O ： メニューに入るには、パスワードの入力が必要になります。 X ： パスワードを入力しなくてもメニューに入れます。 **管理者， ネットワーク，ユーザー1，ユーザー2，ユーザー3** ： 各使用者が操作できるメニューの範囲を設定します。「SEL」ボタンを押すごとにOとXが切換わります。 O：メニューに入る権限があります。 X：メニューに入る権限がありません。 **パスワード** ： 各使用者のパスワードを設定します。「SEL」ボタンを押すとパスワード変更画面が表示されます。使用者パスワードメニューでもパスワード変更が可能です。
使用者パスワード	各使用者のパスワードを設定します。 「SEL」ボタンを押すと使用者パスワード画面が表示されます。 ※ 使用者権限画面で各使用者のパスワードをクリックすることによっても同じように使用者パスワード画面が表示され、パスワードの設定・変更ができます。 **ユーザー** ：パスワードを設定･変更したい使用者を選択します。(選択肢：管理者/ユーザー1/ユーザー2/ユーザー3) **現在** ：「SEL」ボタンを押すと文字表が表示されます。現在のパスワードを入力します。各使用者のパスワードの出荷時の初期値は1111です。 **※工場出荷時に戻すと「11111111」 に戻ってしまいますのでご注意ください。** **新** ：上記の現在パスワードの入力を完了すると自動的に新パスワードの入力画面が表示されます。変更したいパスワードを入力します。 **確認** ：上記の新パスワードの入力を完了すると自動的に新パスワード確認画面が表示されます。上記に入力した新しいパスワードをもう一度入力します。

3.6 ネットワーク設定

ネットワークで接続するための設定を行います。

項 目 の 説 明	
ポート番号	「SEL」ボタンを押すとポート番号の入力画面が表示されます。コントロールボタン(▲▼◀▶)で固有のネットワークポート番号を入力します。(初期値： 5445)



ルーターを通じて接続時、ルーターのポートはDVRで設定したポート番号と、その番号+1のポートを一緒に設定してください。

例) DVRのポートが5445の場合、ルーターのTCPポートは5445と5446に設定してください。

※ 遠隔設定機能を使用する場合は、追加的にDVRポート番号+10を設定します。
例) DVRのポートが5445の場合、ルーターのTCPポートは5445・5446・5455に設定してください。

WEBポート	「SEL」ボタンを押すとウェブポート番号の入力画面が表示されます。コントロールボタン(▲▼◀▶)でウェブサーバーのポート番号を入力します。(初期値： 80)
ネットワークタイプ	接続するネットワークタイプを選択します。(選択肢： LAN/DHCP/ADSL) ※ 詳細は次項の「ネットワークタイプ設定」をご参照ください。
DDNS	DDNSサービスをご利用になる場合は、ドメイン名を登録し、DDNSサーバーの設定をおこないます。(選択肢： ON/OFF)　ONを選択すると下位項目が表示されます。 **DDNSサーバー名** ： bestddns.comに設定してください。 **DDNS更新周期** ： DDNSサーバーとの更新周期を設定します。(設定範囲： 5～60分)

● **ネットワークタイプの設定**

【DHCP】

インターネットからアクセスされる場合:
契約しているISP等のDHCPサーバーから、
ルータを介さず、直接グローバルIPアドレスを取得する場合に設定します。
同一LANからアクセスされる場合:
LAN内のDHCPサーバーからプライベートIPアドレスを取得する場合に設定します。

【ADSL】

コントロールボタン(◀▶)でADSLを選択すると、ADSLに接続するための下位項目が表示されます。

〔インターネットからアクセスされる場合〕
契約しているISP等から、ルータを介さず、PPPoEによってグローバルIPアドレスを取得する場合に設定します。
【ADSL ID】及び【ADSLパスワード】にはISP等から通知された内容を入力して下さい。

〔同一LANからアクセスされる場合〕
本設定では同一LAN内からのアクセスはできません。

- **ID** : ADSL接続時のIDを入力します。
- **パスワード** : ADSL接続時のパスワードを入力します。

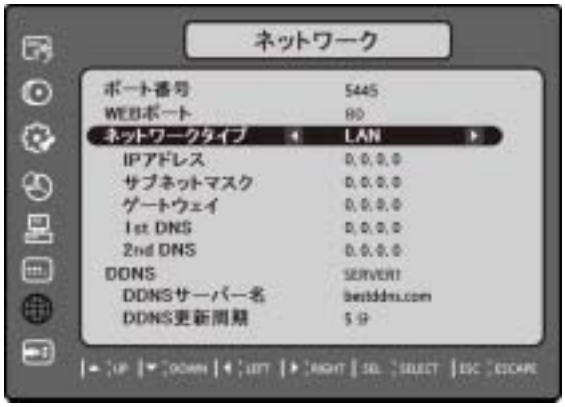
【LAN】

コントロールボタン(◀▶)でLANを選択すると、ネットワークの情報を設定する下位項目が表示されます。

〔インターネットからアクセスされる場合〕
ルータ経由でアクセスされる場合に設定します。

〔同一LANからアクセスされる場合〕
固定IPアドレスを使用する場合に設定します。

下記は設定の一例です。LAN環境により適切に設定して下さい。



- **IPアドレス** : DVRに割り当てられたIPアドレスを入力します。
  IPアドレスはシステムメニューのシステム情報からも確認することができます。
- **サブネットマスク** : 使用するネットワークのサブネットマスクを入力します。
- **ゲートウェイ** : 使用するネットワークのゲートウェイを入力します。
- **1st DNS** : DNSサーバーのアドレスを入力します。
- **2nd DNS** : DNSサーバーのアドレスを入力します。

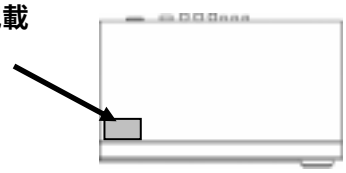
● ネットワーク設定の保存

① ネットワーク設定が完了すると、ネットワーク設定保存の画面が表示されます。
② 「はい」を選択するとDVRがリブートし、変更した設定内容が保存されます。
③ 「いいえ」を選択すると変更した設定内容が無効化されます。

● DDNSサーバへの登録

① MACアドレスを確認してください。

① シリアル番号は本体上部のシールに記載されている番号を確認してください。



（本体天面）

③ IE(Internet Explorer)で下記のアドレスにアクセスしてください。

http://www.bestddns.com/

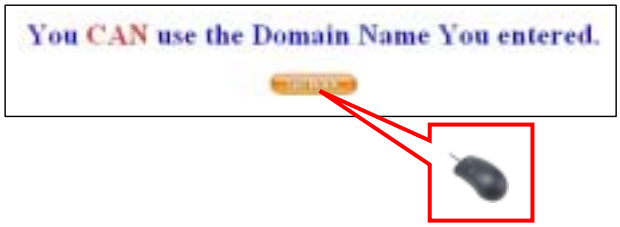
下記の画面が表示されます。

④ 設置するDVRの【MAC Address】を用意してください。

半角英数で必要事項を入力してください。
MAC Address → MACアドレスを入力
Serial Number → シリアルナンバーを入力
Domain Name → ドメイン名を入力

※ Domain Name の横の **Duplication Check** のボタンをクリックすると入力したドメイン名がすでに使用されているか否かが確認できます。

※ 下記の画面が表示されると入力したドメイン名は使用できます。確認をしたら一つ前の設定画面に戻ってください。



※ 下記の画面が表示された場合は入力したドメイン名は使用できません。
一つ前の設定画面に戻って別のドメイン名を入力してください。

※ また下記の画面が表示されたときは入力したMACアドレスが無効の場合です。
正しいMACアドレスを入力してください。

⑤ 必要事項を全て入力し終わったら。 **Register** のボタンをクリックしてください。

⑥入力事項が全て正しい場合下記の設定完了画面が表示されます。 以上で設定は終了です。

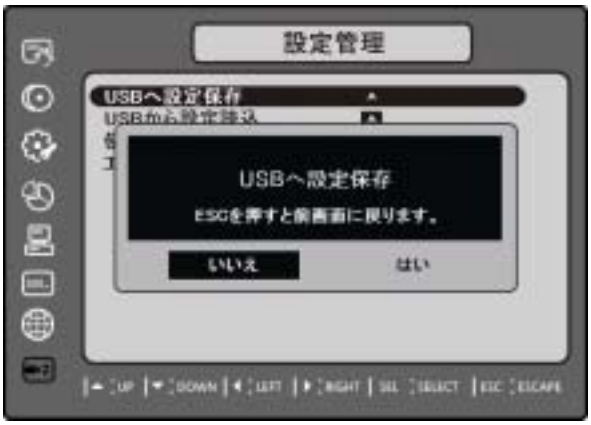
3.7 設定管理

設定した内容の保存や初期化などができます。

項 目 の 説 明

USBへ設定保存　DVRの設定値をUSBメモリーに保存します。

USBメモリーをUSBポートに接続し、「SEL」ボタンを押すと選択画面が表示されます。

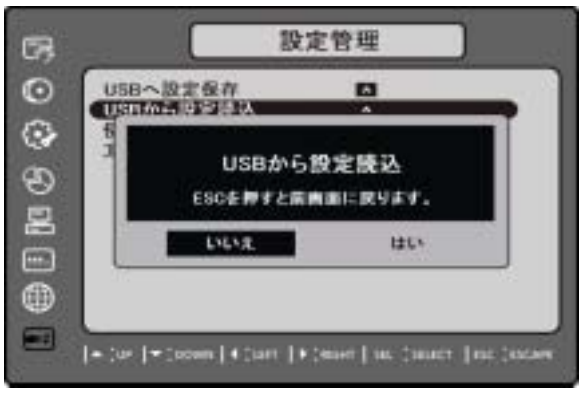


「はい」を選択するとUSBメモリーの中にconfig フォルダーが生成され、DVRの設定値がCFG形式で保存されます。

「いいえ」を選択すると前画面に戻ります。

USBから設定読込　USBメモリーに保存した設定値をDVRに呼び出します。

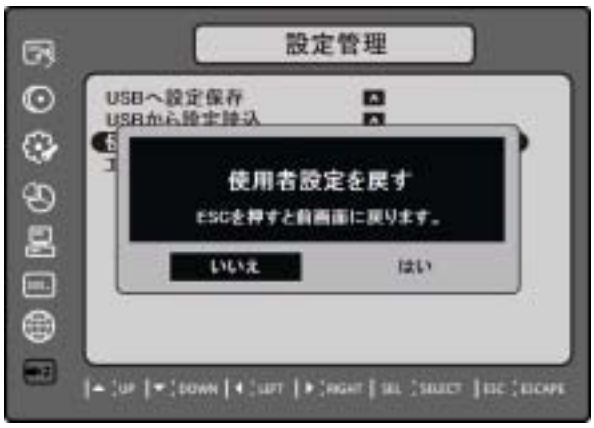
USBメモリーをUSBポートに接続し、「SEL」ボタンを押すと選択画面が表示されます。



使用者設定を戻す　設定を初期化します。

※　但し、言語・DVRのID・使用者権限・使用者パスワード・日時の形式・DLS設定・ネットワーク設定;HDDシリアル番号・HDDエラー記録の設定は初期化しません。

「SEL」ボタンを押すと選択画面が表示されます。

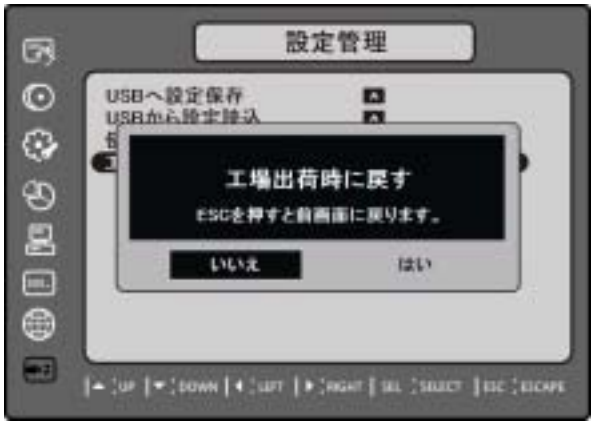


「はい」を選択するとDVRがリブートし、設定値が初期化されます。

「いいえ」を選択すると前画面に戻ります。

工場出荷時に戻す　すべての設定を工場出荷時と同じく初期化します。

「SEL」ボタンを押すと選択画面が表示されます。



「はい」を選択するとDVRがリブートし、設定値が初期化されます。

「いいえ」を選択すると前画面に戻ります。

【注意】　**※工場出荷時に戻す(初期化する)と、パスワードが出荷時初期値の「1111」から、工場出荷時の「11111111」に戻ってしまいますのでご注意ください。**

4. ライブ監視

4.1 ライブ画面の説明

電源が入ると、接続しているカメラのライブ映像が分割画面で表示されます。

画面上には操作に必要なOSD画面表示が表示されます。(OSD画面表示は画面設定メニューから非表示にできます)

アイコンの説明	
メニュー	マウスを利用してクリックすると、メニュー項目が表示されます。 表示されるメニュー項目(設定・検索・バックアップ・録画・カメラコントロール・画面自動切換・録音・アラーム出力)をコントロールボタン(◀▶)かマウスで選択するとその項目に移動できます。 **※ マウスが必要な項目です。**
◀ ▶	マウスを利用してクリックすると、表示チャンネルが切換わります。 画面の切換えは、1画面表示状態かマルチ画面表示状態かによって異なります。 ※　コントロールボタン(◀▶)を押すことでも同じ操作が可能です。
⊞	マウスを利用してクリックすると、1画面→4画面→9画面→16画面の順番で画面表示が切換わります。 ※　マウスのダブルクリックや、「SEL」ボタンを押すことでも同じ操作が可能です。
2009/04/14 17:23:40	現在の日時を表示します。 ※　現在の日時はシステムメニューで設定できます。
R:A	現在操作中のリモコンのIDを表示します。 例)リモコンのIDが35に設定してあると、R;35と表示されます。 リモコンIDが設定されていない場合はR:Aを表示します。 ※　リモコンIDはデバイスメニューで設定できます。
15%	ハードディスクの使用容量を0～99%で表示します。
●	常時録画中に表示します。

	手動録画中に表示します。
	モーション録画中に表示します。
	センサー録画中に表示します。
	操作ロック時に表示します。 「ESC」ボタンを5秒間押し続けると操作がロック又はロック解除されます。
	音声を出力しない時に表示します。プロントパネルの「AUDIO」ボタンを押すことで音声出力モードが設定できます。
	ハイライトされたチャンネルのみ音声を出力する時に表示します。プロントパネルの「AUDIO」ボタンを押すことで音声出力モードが設定できます。
	入力のある4つのチャンネルの音声を同時に出力する時に表示します。プロントパネルの「AUDIO」ボタンを押すことで音声出力モードが設定できます。
	アラームが設定されている時に表示します。プロントパネルの「ALARM」ボタンを押すことでアラーム機能が設定できます。
	アラーム出力中に表示します。
	モーションか外部センサーの入力による録画中に表示します。
	ネットワーククライアントがDVRに接続している時に表示します。
	画面自動切換えが動作している時に表示します。

ボタンの説明	
SEQ	画面自動切換えを行います。 動作を開始した時の画面分割によって1画面/4画面で切換えます。
PTZ	PTZカメラの操作を行います。
SETUP	設定メニューに入ります。
ARCH	映像を静止画か動画でバックアップします。
	チャンネルを移動します。 ※　ボタンを押した時の画面分割によって1画面/4画面で切り換わります。
	押すごとに画面の表示モードが1画面→4画面→1画面と切り換わります。
REC	手動録画を開始/中止します。
SEARCH	検索メニューに入ります。
	表示中のメニューと閉じるか、動作を終了します。

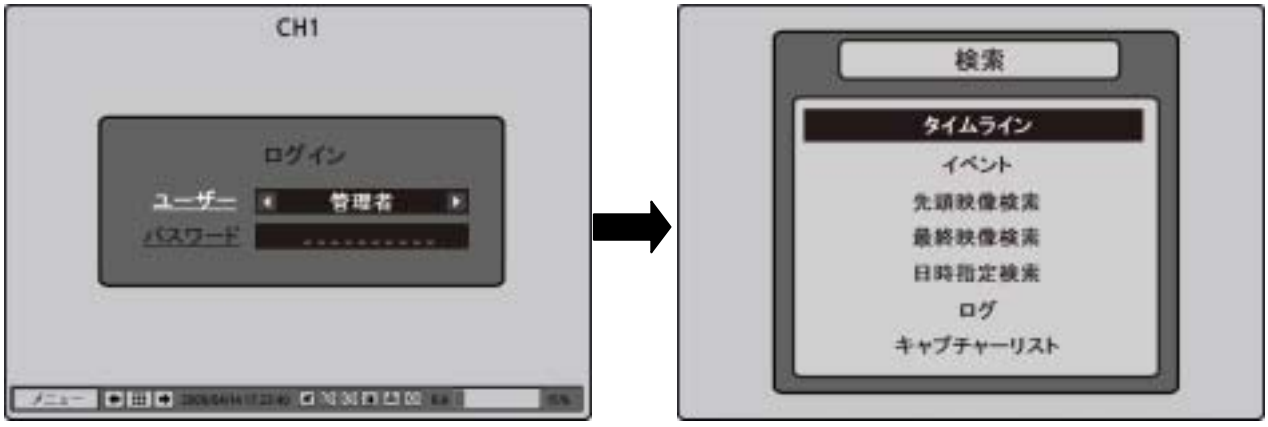
5. 検索と再生

5.1 検索メニューの基本操作

● 検索画面に入るには

①マウスを利用してメイン画面の「MENU」→「SEARCH」をクリックするか、前面パネルの「SEARCH」ボタンを押します。

② ログイン画面が表示されると、コントロールボタン(◀▶)でユーザータイプを 選択し、「SEL」ボタンを押します。検索メニューに入る時にパスワードが必要かいなかについては、設定メニューの「セキュリティー」メニューで変更できます。



③ パスワード項目がハイライトされると同時にパスワード入力画面が表示されます。コントロールボタン(▲▼◀▶)でパスワードを入力し、「確認」をクリックすると、検索画面が表示されます。

※ 出荷時のパスワードの初期値は「1111」です。

※ 工場出荷時に戻した場合 「11111111」 に戻ってしまいますのでご注意ください。

システムの安全のため、購入後、パスワードを変更することをお勧めします。パスワードは設定メニューの「セキュリティー」メニューで変更できます。

● **再生時の操作**

各検索モードで再生したいデータを選択して再生をはじめると、下図のような再生画面が表示されます。

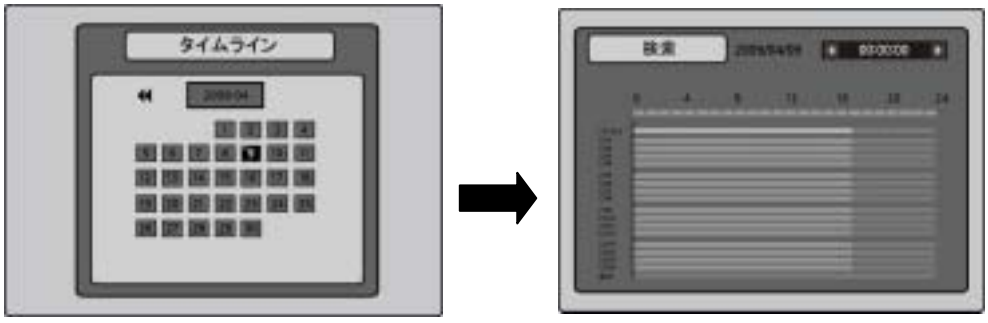
ボタンの説明	
	再生を中止して検索メニューに戻ります。 マウスでは右ボタンをクリックします。
REW	早戻しします。押すごとに再生速度が2倍速→4倍速→8倍速→1倍速→2倍速･･･に変わります。
F / REW	現在再生中の時刻より1分前の映像にジャンプして再生します。
PLAY/PAUSE	再生中の映像を一時停止します。 もう一度押すと再生を再開します。
F / ADV	現在再生中の時刻より1分先の映像にジャンプして再生します。
FF	早送りします。押すごとに再生速度が2倍速→4倍速→8倍速→1倍速→2倍速･･･に変わります。
ARCH	再生中の映像を静止画か動画でバックアップします。

5.2 タイムライン検索

録画データをタイムラインで検索することができます。

① 検索メニューでタイムラインを選択し、「SEL」ボタンを押すとカレンダーが表示されます。データのある日付は水色で表示されています。

② コントロールボタン(▲▼◀▶)で再生したい日付にカーソルを移動させ、「SEL」ボタンを押すとタイムライン画面が表示されます。



④ タイムラインから時刻を指定し、再生したいチャンネル「SEL」ボタンを押すと再生が始まります。

⑤ 再生中に「ESC」ボタンを押すと、再生を中止し、タイムライン検索画面に戻ります。

● **タイムラインからデータを検索するには**

タイムライン検索画面の構成は下図の通りです。

① タイムバー: 1日の24時間を現します。マウスでこのタイムバーをクリックするか、前面パネルの早送り/早戻しボタンを押すと選択時刻が1時間ずつ移動します。録画データのない時間帯へは移動できません。

② 検索時刻: 検索したいデータの録画時刻を表示します。両端の◀▶をマウスでクリックするか、前面パネルのコントロールボタン(◂ ▸)を押すと選択時刻が6分ずつ移動します。

③ 検索チャンネル: 検索したいチャンネル名をマウスでクリックするか、コントロールボタン(▲▼)を押すと選択チャンネルが移動します。録画データのないチャンネルへは移動できません。
チャンネル名をマウスでダブルクリックするか、「SEL」ボタンを押すと、そのチャンネル映像の再生が始まります。

④ AUDIO: 音声記録がある部分は赤色で表示されます。

5.3 イベント検索

イベントの種類で録画データを検索することができます。

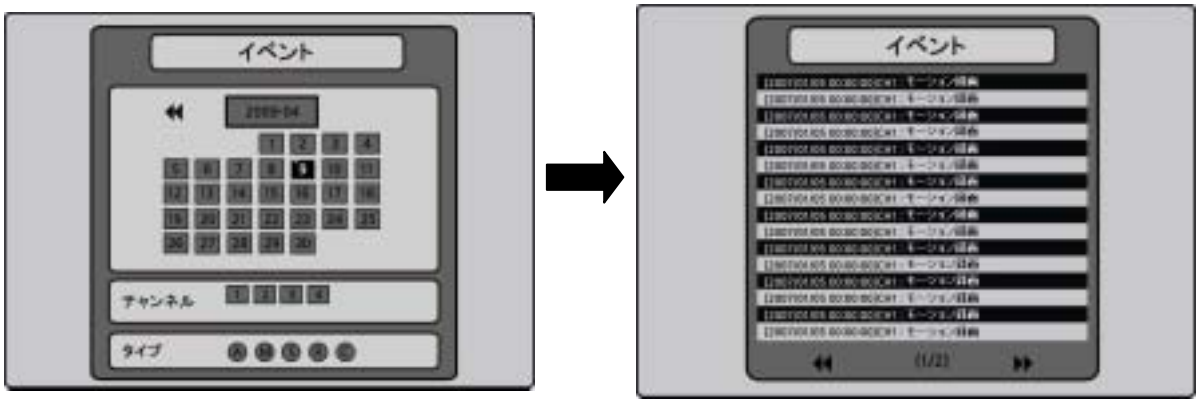
① 検索メニューでイベントを選択し、「SEL」ボタンを押すとカレンダーが表示されます。データのある日付は水色で表示されています。

② コントロールボタン(▲▼◀▶)で再生したい日付にカーソルを移動させ、「SEL」ボタンを押すとチャンネル選択へカーソルが移動します。

③ コントロールボタン(◀▶)で検索したいチャンネルに移動し、「SEL」ボタンを押すとイベントタイプ選択へカーソルが移動します。

④ コントロールボタン(◀▶)で検索したいイベントのタイプに移動し、「SEL」ボタンを押すとリストの画面が表示されます。

A: 全てのイベント/ **M**: モーション録画/ **S**: センサー録画/ **R**: 手動録画/ **C**: 常時録画



⑤ リストのページが複数の場合は、コントロールボタン(◀▶)でページを移動することができます。コントロールボタン(▲▼)で再生したいデータに移動し、「SEL」ボタンを押すと再生が始まります。

⑥ 再生中に「ESC」ボタンを押すと、再生を中止し、リスト画面に戻ります。

5.4 先頭映像検索

検索メニューで先頭映像検索を選択し、「SEL」ボタンを押すと、HDDに保存されている一番古い録画データの再生が始まります。再生中に「ESC」ボタンを押すと、再生を中止し、検索メニューに戻ります。

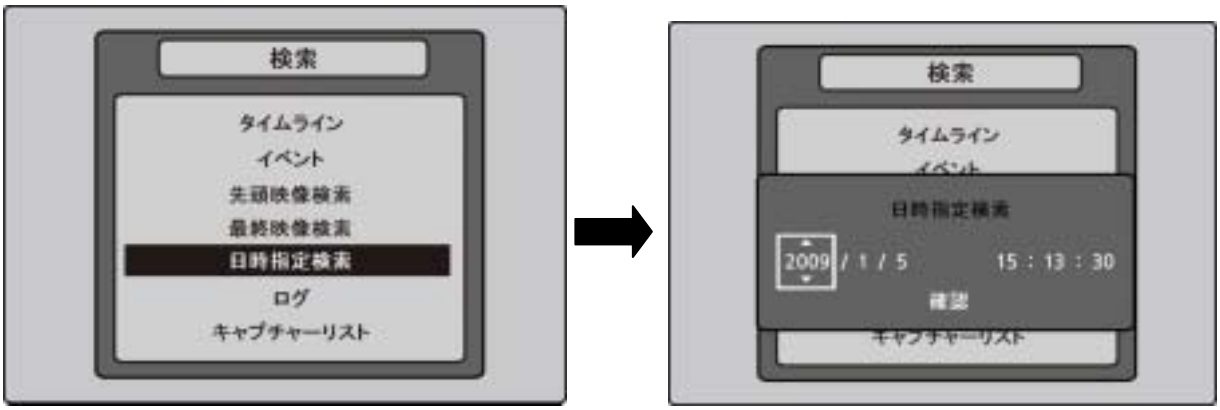
5.5 最終映像検索

検索メニューで最終映像検索を選択し、「SEL」ボタンを押すと、HDDに保存されている一番最後の録画データの再生が始まります。 再生中に「ESC」ボタンを押すと、再生を中止し、検索メニューに戻ります。

5.6 日時指定検索

年月日、時刻を数字で直接指定して検索できます。

検索メニューで日時指定検索を選択し、「SEL」ボタンを押すと日時入力画面が表示されます。コントロールボタン(▲▼◀▶)で検索したい日時を入力し、「SEL」ボタンを押すと再生が始まります。

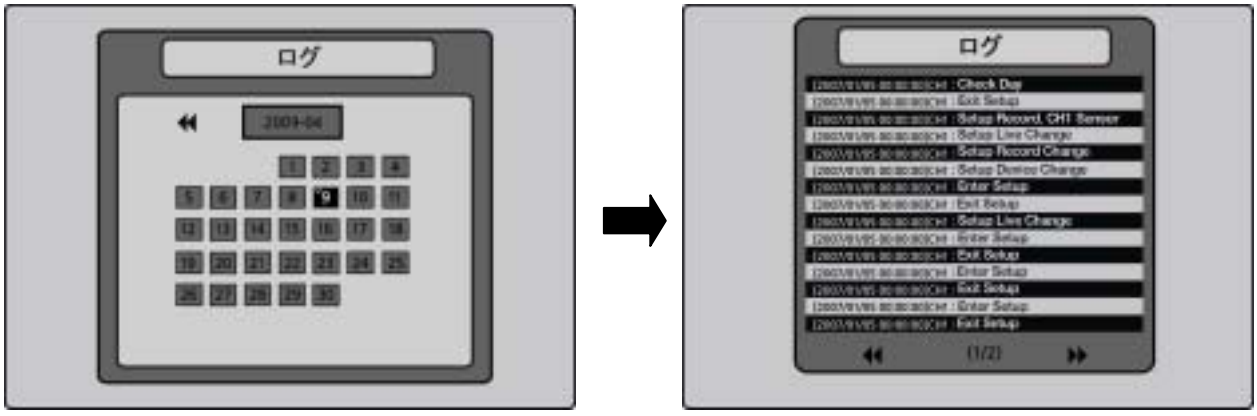


再生中に「ESC」ボタンを押すと、再生を中止し、検索メニューに戻ります。

5.7 ログの検索

DVRの操作・動作記録を閲覧できます。

検索メニューでログを選択し、「SEL」ボタンを押すとカレンダーが表示されます。ログのある日付は水色で表示されています。コントロールボタン(▲▼◀▶)で閲覧したい日付にカーソルを移動させ、「SEL」ボタンを押すとログリストの画面が表示されます。

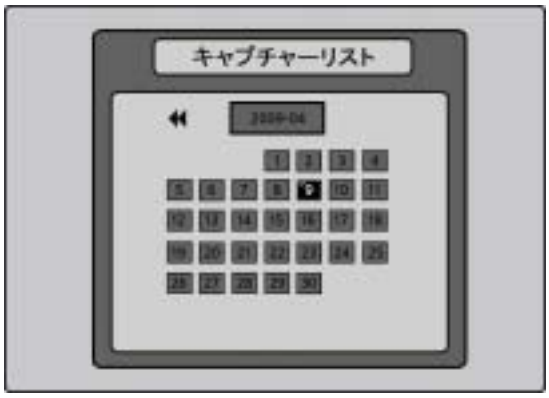


リストのページが複数の場合は、コントロールボタン(◀▶)でページを移動することができます。「ESC」ボタンを押すとカレンダー画面に戻ります。

5.8 キャプチャーリスト

キャプチャーした静止画または動画のリストを検索できます。

① 検索メニューでキャプチャーリストを選択し、「SEL」ボタンを押すとカレンダーが表示されます。データのある日付は水色で表示されています。



② コントロールボタン(▲▼◀▶)で検索したい日付にカーソルを移動させ、「SEL」ボタンを押すとキャプチャーリストの画面が表示されます。

③ リストのページが複数の場合は、コントロールボタン(◀▶)でページを移動することができます。コントロールボタン(▲▼)で表示したいデータに移動し、「SEL」ボタンをキャプチャーした画像の静止画が表示されます。

④ リストに複数のキャプチャーデータがある場合は、コントロールボタン(◀▶)で前/次のデータへ移動することができます。

⑤ 静止画が表示されている状態で「CAPTURE」ボタンを押すと、外部メモリーにバックアップすることができます。

6. PTZカメラの操作

6.1 PTZカメラの接続

①後面パネルのRS-485コントロール端子に
PTZカメラを接続します。

②設定メニューのデバイスの下位項目のPTZメニューで、PTZカメラの設定を行ってください。
※ 詳細は「3.4 PTZ設定」をご参照ください。

6.2 PTZカメラの操作

① マウスを利用してメイン画面の「MENU」→「PTZ」をクリックするか、前面パネルの「PTZ」ボタンを押します。

② ログイン画面が表示されると、コントロールボタン(◀▶)でユーザータイプを 選択し、「SEL」ボタンを押します。検索メニューに入る時にパスワードが必要かいなかについては、設定メニューの「セキュリティー」メニューで変更できます。

③ パスワード項目がハイライトされると同時にパスワード入力画面が表示されます。コントロールボタン(▲▼◀▶)でパスワードを入力し、「確認」をクリックすると、ライブ画面の左側にPTZコントロールパネルが表示されます。

> ※**出荷時のパスワードの初期値は「1111」です。**
> 工場出荷時に戻した場合 「11111111」 に戻ってしまいますのでご注意ください。
> システムの安全のため、購入後、パスワードを変更することをお勧めします。
> パスワードは設定メニューの「セキュリティー」メニューで変更できます。

④ コントロールボタン(▲▼)かマウスでPTZコントロールパネルのボタンを押すことでPTZカメラを操作します。コントロールボタン(◀▶)ではチャンネルの切換えができます。

（PTZコントロールパネル　例：CH1）

ボタンの説明	
PAN/TILT	コントロールボタン(▲▼)でチルト上/下を、コントロールボタン(◀▶)でパン左/右を調整します。
ZOOM/FOCUS	コントロールボタン(▲▼)でズームIN/OUTを、コントロールボタン(◀▶)でフォーカスNEAR/FARを調整します。
初期化	選択したカメラのPTZ設定を初期化します。
PRESET	PRESET機能対応のカメラで使用できます。 コントロールボタン(◀)+数字(3桁)をクリックすることでPRESET設定を行います。 コントロールボタン(▶)+数字(3桁)をクリックすることで設定したPRESET位置へ移動します。
TOUR	TOUR機能対応のカメラで使用できます。 コントロールボタン(▶)+数字(グループ番号1～8)をクリックすることでグループを設定します。 コントロールボタン(◀)をクリックすることでTOUR機能を終了します。
OSD表示	カメラのOSDをDVR画面に表示し、DVR側でカメラのメニューを設定することができます。 PTZボタンを押すとカメラOSDモードから抜けられます。
AUTOSCAN	マウスの右ボタンをクリックするとAUTOSCANを開始します。 マウスの左ボタンをクリックするとAUTOSCANを中止します。
PTZ	OSD表示メニューから抜け出します。
ESC	PTZコントロールパネルが消え、PTZコントロールモードを解除します。
数字ボタン	TOURやPRESETメニューで使用します。
◀◀ ▶▶	OSD表示メニューで使用します。 ◀◀: Far / ▶▶: Near

7. バックアップ

7.1 静止画のバックアップ

ライブ映像や再生映像の画像を静止画でキャプチャーし、USBメモリーに保存することができます。

● ライブ監視中の静止画バックアップ

① 前面パネルのUSB端子にUSBメモリーを接続します。
ライブ映像を監視中に、キャプチャーしたい場面で前面パネルの「BACKUP」ボタンを押します。

② “キャプチャー完了”のメッセージの後に、バックアップ画面が表示されます。

③ コントロールボタン(◀▶)で「はい」を選択し、「SEL」ボタンを押すと、記録装置に静止画がJPEG形式で保存されます。

④ キャプチャーした静止画は、検索メニューのキャプチャーリストから確認できます。バックアップ画面で「いいえ」を選択した場合も同じく記録されます。

● 再生中の静止画バックアップ

① 前面パネルのUSB端子にUSBメモリを接続します。

② 録画映像を再生中に、前面パネルの「BACKUP」ボタンを押します。

③ キャプチャー形式を選択する画面が表示されます。コントロールボタン(◀▶)で「静止画」を選択し、「SEL」を押します。

④ “キャプチャー成功”のメッセージの後に、バックアップ画面が表示されます。

⑤ コントロールボタン(◀▶)で「はい」を選択し、「SEL」ボタンを押すと、記録装置に静止画がJPEG形式で保存されます。

⑥ キャプチャーした静止画は、検索メニューのキャプチャーリストから確認できます。バックアップ画面で「いいえ」を選択した場合も同じく記録されます。

7.2 動画のバックアップ

● 再生中の動画バックアップ（設定範囲:1～60分）

① 前面パネルのUSB端子にUSBメモリーを接続します。

② 録画映像を再生中に、前面パネルの「BACKUP」ボタンを押します。

③ キャプチャー形式を選択する画面が表示されます。コントロールボタン(◀▶)で「動画」を選択し、「SEL」ボタンを押すと、保存期間設定画面が表示されます。 コントロールボタン(▲▼)で期間を設定し(**設定範囲:1～60分**)、「SEL」ボタンを押します。

④ 動画ファイルの形式の選択画面が表示されます。コントロールボタン(◀▶)でバックアップしたいファイル形式を選択し、「SEL」ボタンを押すとバックアップ画面が表示されます。

※　詳細は次項 「動画の形式と再生」をご参照ください。

⑤ コントロールボタン(◀▶)で「はい」を選択し、コントロールボタン(▲▼)でUSB端子に接続されている記録装置を選択し、「SEL」ボタンを押すと、“保存中”のメッセージとステータスバーが表示され、記録装置に動画が保存されます。

⑥ キャプチャーした動画は、検索メニューのキャプチャーリストから確認できます。バックアップ画面で「いいえ」を選択した場合も同じく記録されます。

● 動画の形式と再生

動画のバックアップファイルは2つの形式の中で選択できます。

【AVI形式の再生】

AVI形式でバックアップした動画ファイルは、Window Media Player™などの汎用動画プレイヤーで再生することができます。

【NSF形式の再生】

NSF形式でバックアップした動画ファイルは、本機種の専用動画形式です。
専用のプレイヤーで再生できます。バックアップを行うとNSF動画ファイルと専用プレイヤーが生成されます。

● キャプチャーリストからのバックアップ

ライブ監視や再生中にキャプチャーした静止画や動画の記録は、検索メニューのキャプチャーリストから検索・バックアップすることができます。

① 前面パネルのUSB端子にUSBメモリーを接続します。

② 検索メニューでキャプチャーリストに入り、バックアップしたいデータを選択し、画面に表示します。
※ 詳細は「5.7. キャプチャーリスト」をご参照ください。

③ データが静止画で表示されている状態で、「BACKUP」ボタンを押すとバックアップ画面が表示されます。
④ 静止画の場合、USBメモリーを選択し、バックアップを行います。
⑤ 動画の場合、ファイル形式とUSBメモリーを選択し、バックアップを行います。

8. ネットワークで操作するには

付属のクライアントソフトを使うと、DVRの画像をパソコンの画面から見ることができます。

【注意】 帯域幅が大きい場合は、1台のDVRに同時に接続できるパソコンの数は4台までです。
帯域幅が小さい場合は、1台のDVRに接続するパソコンの数は1台にすることをお勧めします。

【注意】 ルーターを通じてインターネットに接続している場合、ルーターからのPort Forwardingが必要です。
DVR本体のネットワークメニューに設定されている基本ポート以外に、基本ポート+1のポート及び、+10のポートをオープンしてください。
例）DVR本体のネットワークメニューに入力したポート番号が5445の場合、ルーターでは5445と5446と5455の3つのポートをオープンします。

8.1 動作環境

- CPU ： Intel Pentium Ⅳ 1.2Ghz以上
- VGA ： 16MB（推奨 ： 64MB以上）
- O/S ： XP/ Vista/ Windows7
- メモリー ： 256MB（推奨 ： 512MB以上）
- 解像度 ： 1024x768
- Direct X ： DirectX 8.1以上

8.2 クライアントソフトのインストール

① 付属のCD-ROMをパソコンのドライブにセットして、“UMS Client_*.*.*.*_年月日.exe”をダブルクリックすると、インストーラーが起動します。

② 「Choose Destination Location」画面でインストール先のフォルダーを確認して「Next」をクリックします。
インストール先のフォルダーを変更する場合は、
「Browse」をクリックしてフォルダーを選択してください。

③ 「Select Program Folder」画面でプログラムフォルダーを確認して「Next」をクリックします。
プログラムフォルダーを変更する場合は、ボックスに直接入力するか、あるいは「Existing Folders」のリストから選択してください。

④ 「Select Program Folder」画面でプログラムフォルダーを確認して「Next」をクリックします。
プログラムフォルダーを変更する場合は、ボックスに直接入力するか、あるいは「Existing Folders」のリストから選択してください。

⑤ インストールが開始され、「Setup Status」画面にインストールの進行状況が表示されます。

⑥ インストールが終了すると、“UMS Client”のショートカットアイコンがデスクトップに表示されます。

⑦ アイコンをクリックすると、クライアントソフトが立ち上がります

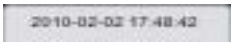
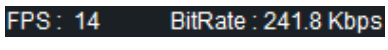
8.3　ライブモードの構成と各部のはたらき

● **双方向オーディオ**

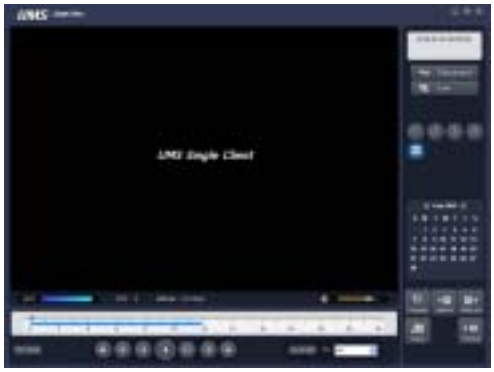
UMSクライアント側とDVR側の双方向オーディオ通信ができます。

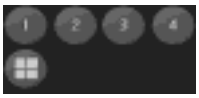
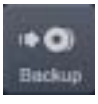
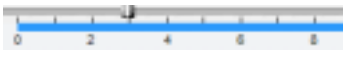
● **PC(UMSクライアント)側**
：マイクやスピーカーに対応するサウンドカードが必要です。

● **DVR側**
：マイクを音声入力端子に接続し、スピーカーを音声出力端子に接続します。

ボタン	名　前	説　明
	**日時情報**	現在の日時を表示します。
	接続/切断	ネットワーク状態を接続/切断にします。
	検索	ライブモードを検索モードに切り換えます。
	チャンネル表示	選択チャンネルを1画面で表示するか、マルチ画面で表示します。
	パン/チルト/ズーム/フォーカス	PTZカメラのパン/チルト/ズーム/フォーカスを調節します。中央のボタンをクリックするごとにパン/チルト↔ズーム/フォーカスモードに切換わります。
	キャプチャー	ライブ画像を静止画で保存します。 このボタンをクリックするとキャプチャー画面が表示され、ライブ画面をbmpかjpg形式の静止画で保存することができます。キャプチャーファイルの保存先はC:¥Storage¥Captureがデフォルトに設定されています。
	再生/停止	ライブ画像を再生/一時停止させます。
	録画ON	ライブ画像をパソコンのハードディスクに保存します。
	プリセット	PTZカメラのプリセットの設定を行います。
	アラーム	DVR側にアラームを発生させます。
	セットアップ	クライアントの設定画面を表示します。
	HDD容量	DVRのHDDの使用容量を表示します。
	**ネットワーク状況**	ネットワークの伝送フレーム数や帯域幅を表示します。
	ボリューム	出力音量を調整します。スピーカーのアイコンをクリックするとこで音声出力を入/切にすることもできます。
	ログウィンドウ	操作履歴を表示します。

8.4 検索モードの構成と各部のはたらき



ボタン	名　前	説　明
	日時情報	再生中の映像の録画日時を表示します。
	接続/切断	ネットワーク状態を接続/切断にします。
	検索	検索モードをライブモードに切り換えます。
	**チャンネル表示**	選択チャンネルを1画面で表示するか、マルチ画面で表示します。
	カレンダー	再生したい映像の日付を選択します。 録画データのある日付は水色に表示されます。
	キャプチャー	再生画像を静止画で保存します。 このボタンをクリックするとキャプチャー画面が表示され、再生画面をbmpかjpg形式の静止画で保存することができます。 キャプチャーファイルの保存先はC:¥Storage¥Captureがデフォルトに設定されています。
	開始点	再生映像からバックアップしたい区間の開始点を指定します。
	終了点	再生映像からバックアップしたい区間の終了点を指定します。
	**バックアップ**	DVRかパソコンのハードディスクに保存されている録画映像をAVIかNSFの動画形式でバックアップします。
	**タイムラインバー**	24時間か60分を表示するタイムラインです。データのある区間は水色のラインで表示されます。スライドノブをドラック&ドロップすることで再生したい時刻に移動できます。
	PC/DVR	パソコンのハードディスクに保存されているデータを再生するか、DVRのハードディスクに保存されているデータを再生するかを選択します。
	再生/一時停止	録画映像を再生/一時停止します。 タイムラインの上で再生したい時刻を選択し、このボタンをクリックすると再生がはじまります。
	1フレームずつ再生	録画映像の一時停止状態からクリックするごとに1フレームずつ再生されます。

/	**1分ずつ再生**	クリックするごとに1分先/前の映像にスキップされます。
/	**早戻し/早送り**	再生中の映像を早戻し/早送りします。
0-24 / 0-60	**時間単位表示/分単位表示**	クリックするごとにタイムラインが選択した日の24時間の表示/選択した時間の60分間の表示に切り換わります。

● 動画のバックアップ

DVRかパソコンのハードディスクに保存されている録画データを動画ファイルでバックアップすることができます。

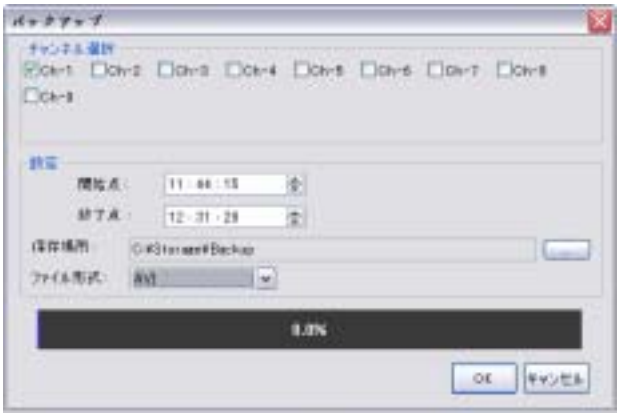
① PC / DVR ボタンでパソコンのハードディスクに保存されているデータを再生するか、DVRのハードディスクに保存されているデータを再生するかを選択します。

- PCのデータを再生： UMSクライアントでライブ画面の監視中に、Backup ボタンをクリックしてパソコンのハードディスクに保存しておいたデータを再生できます。
- DVRのデータを再生： DVRの録画設定により、DVRのハードディスクに保存されている録画データをネットワークを通じて再生できます。

② タイムラインのスライドノブをドラック&ドロップしてバックアップしたいデータの先頭時刻に位置させ、Mark in ボタンをクリックすると、選択時点がバックアップの開始点として指定されます。

③ スライドノブを再度ドラック&ドロップして開始点より後の時刻に位置させ、Mark out ボタンをクリックすると、選択時点がバックアップの終了点として指定され、開始点と終了点の間の区間が緑色に変わります。

④ バックアップする区間が緑色で指定された状態で、Backup ボタンをクリックすると、バックアップのダイアログ画面が表示されます。



- チャンネル選択 ： バックアップするチャンネルを選択します。
- 開始点/終了点 ： バックアップする時間を再指定することができます。
- 保存場所 ： バックアップファイルが保存されるフォルダーを指定します。
  デフォルトはC:¥Storage ¥Backupになっています。
- ファイル形式 ： AVIとNSFファイルの中でバックアップする動画のファイル形式を選択します。

※ 各形式の動画ファイルの再生方法は「7.2.2. 動画の形式と再生」を参照。

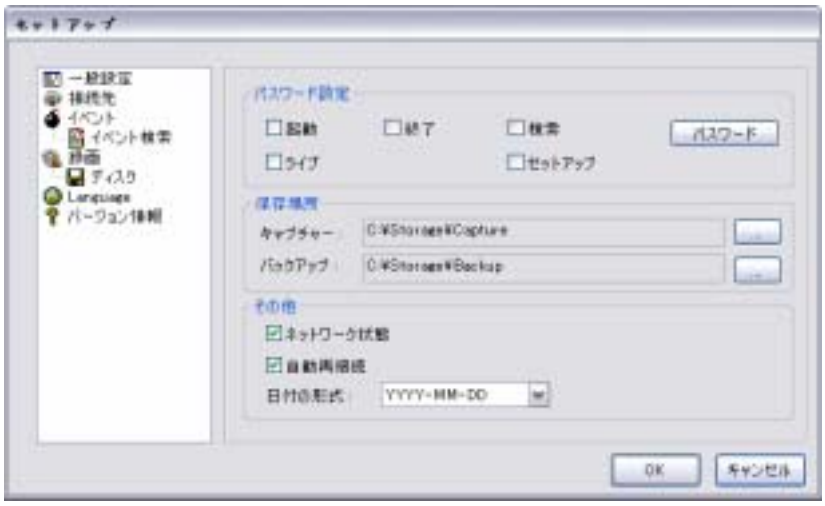
⑤ バックアップ設定を終え、「OK」ボタンをクリックすると、プログレスゲージに進行状況が表示され、バックアップがはじまります。

8.5 設定のしかた

● セットアップについて

ボタンをクリックし、UMSクライアントの設定を変更・確認します。

【一般設定】



パスワード設定　：各操作項目にチェックを入れると、その操作を行う時にパスワードが必要になります。「パスワード」ボタンをクリックするとパスワードを設定することができます。

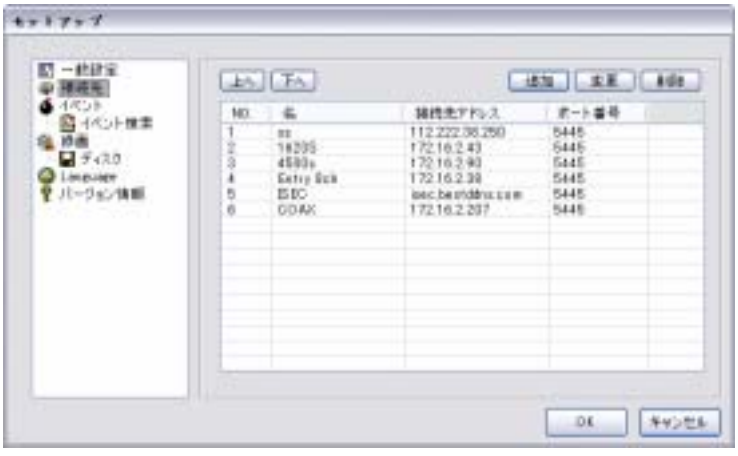
保存場所　：キャプチャーした静止画か、バックアップした動画のファイルを保存するフォルダを指定します。

ネットワーク状態　：ライブモードで、FPSやBitRateなどのネットワークのステータスを表示します。

自動再接続　：何らかの原因でネットワークが切断された時、自動的に再接続を行います。

日付の形式　：日付の表示形式を選択します。

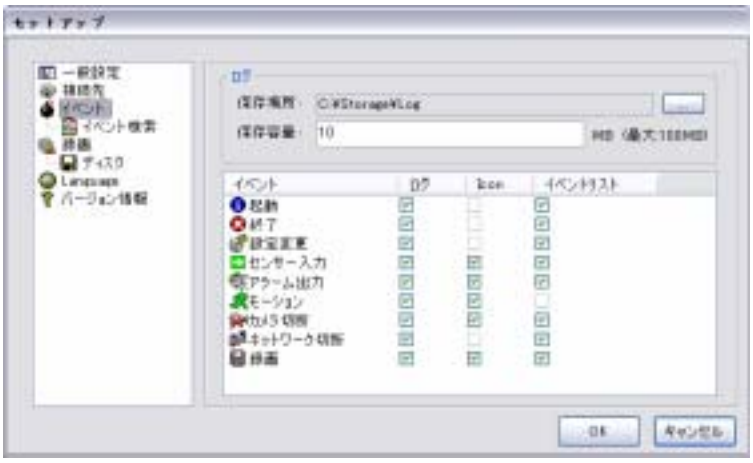
【接続先】



接続したいDVRのSite名、IPアドレス、ポート番号、パスワードを登録し、UMSクライアントから接続することができます。

接続先の登録数には制限がなく、すでに登録されている接続先の情報を変更・削除することもできます。

【イベント】

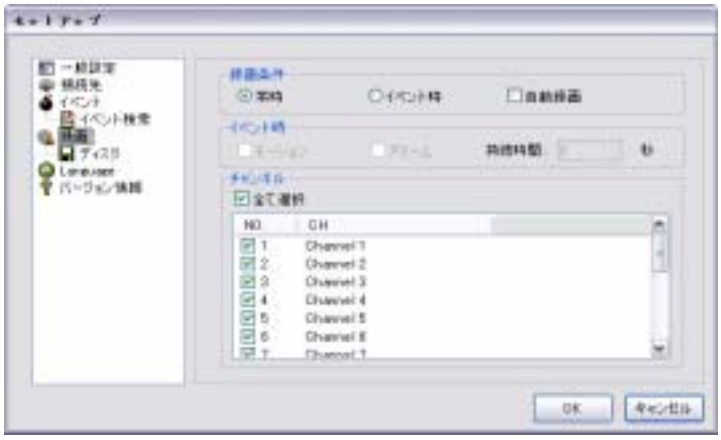


ログ　　：UMSクライアントでイベントが発生したログのリストを保存するフォルダと制限容量を設定します。
イベント設定：各イベント項目にチェックを入れ、そのイベントが発生した時にログリストに記録するか/ライブ画面にアイコンを表示するか/ライブ画面の下部のログウィンドウに表示するかを設定します。

【イベント検索】

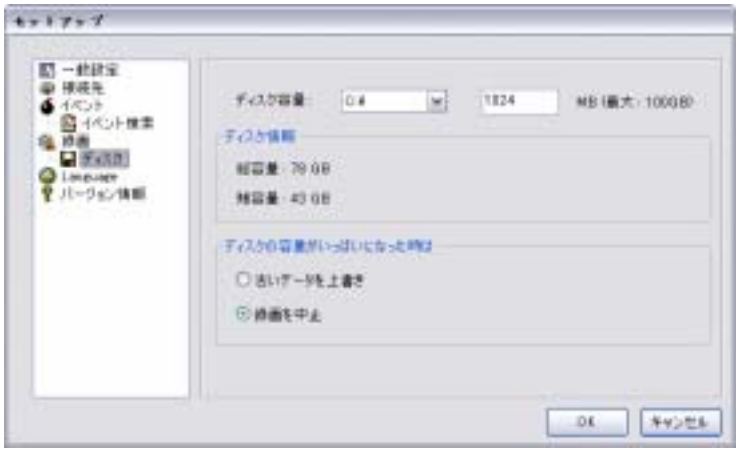
イベントの発生記録を検索したい日時範囲を指定し、「検索」ボタンをクリックすると、指定範囲内に発生したイベントのリストが表示されます。保存記録の最初から検索したい場合は「先頭」に、保存記録の最後まで検索したい場合は「最終」にチェックを入れてください。

【録 画】



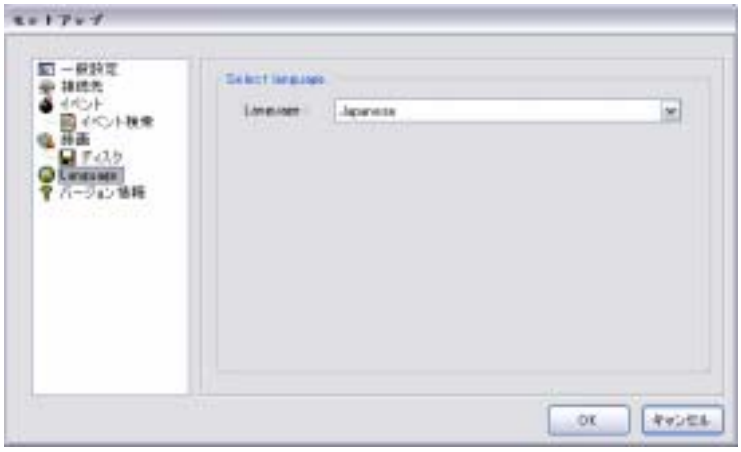
UMSクライアントでライブ画面を録画する時の条件、イベントの種類、チャンネルなどを設定します。

【ディスク】



UMSクライアントでライブ画面を録画したデータを保存するパソコンのディスクと、データの最大容量を指定します。

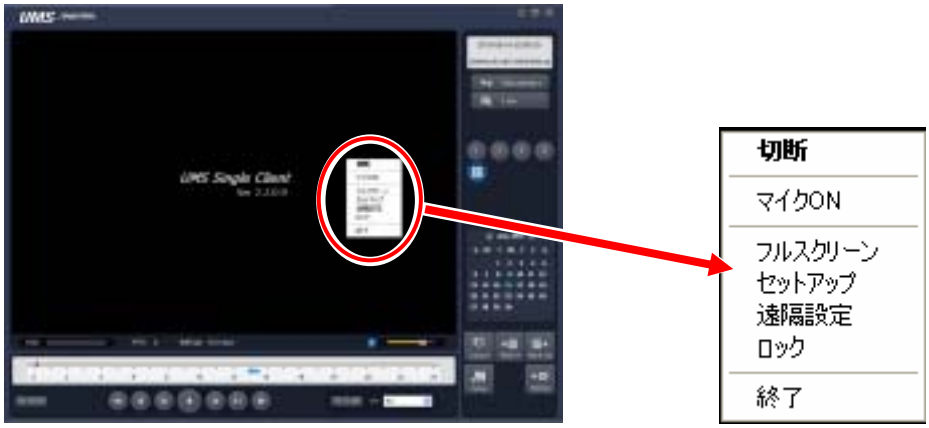
【言 語】



UMSクライアントは多言語を対応しています。使用する言語を変更すると、一度プログラムを終了してから再度立ち上げた時から適用されます。

● セットアップ以外の設定について

UMSクライアント上の画像表示画面上で右クリックし、設定項目を選択します。



名　前	説　明
切断	DVRとのネットワーク接続を切断します。
マイクON/OFF	マイクON：クライアントPCに接続されているマイクがOFFになっている状態です。 マイクOFF：クライアントPCに接続されているマイクがONになっている状態です。 ※マイクON,OFFと表示が逆になっているので注意して下さい。
フルスクリーン	画像表示画面をフルスクリーンに設定します。 フルスクリーン上で右クリックし、フルスクリーンのチェックを外すと元の画面サイズに戻ります。
セットアップ	ボタンを押した時と同様です。
遠隔設定	遠隔設定についてをご参照下さい。
ロック	UMSクライアントの操作をロックします。
終了	UMSクライアントを終了します。

● 遠隔設定について

前項セットアップ以外の設定で遠隔設定を選択すると下記の画面が表示されます。
DVR本体のHDDフォーマット、SMART情報及び設定管理に関する設定以外は、
本メニューから遠隔で行うことができます。
※ネットワーク設定を変更すると接続できなくなる場合がありますので注意して下さい。

9. Webブラウザで監視するには

DVRがネットワークに接続されていると、Internet Explorerのブラウザで映像を監視・再生することができます。

9.1 IEからの接続

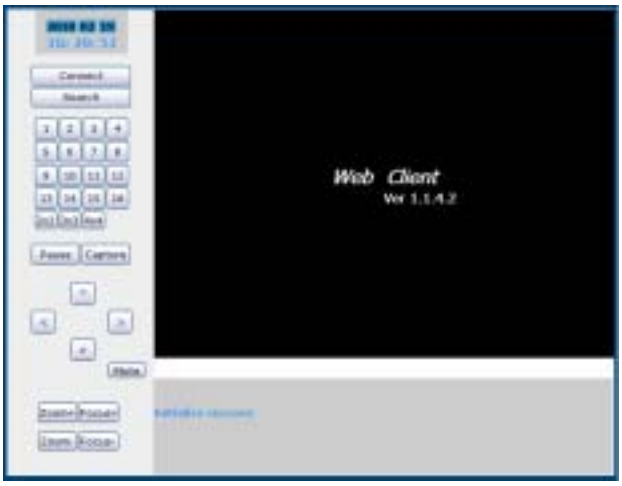
①パソコンのWebブラウザ(Internet Explorer)を起動します。
②ブラウザのアドレスバーにDVRのIPアドレスを入力し、Enterキーを押します。

入力例：

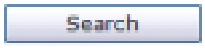
③WebブラウザにWeb Viewerの画面が表示されます。
④Connectボタンをクリックすると接続ダイアログが表示されます。
⑤接続ダイアログに、DVRのIPアドレスとポート番号、パスワードを入力してConnectボタンをクリックします。
⑥ Web ViewerからDVRの映像が見れるようになります。

9.2 画面の操作

● ライブモード



メイン画面のコントロールボタン

ボタン	説　明
	現在時刻を表示します。
	DVRとのネットワーク接続/切断状態を切換えます。
	Viewerの画面を検索モードに切換えます。
	チャンネルの番号をクリックするとそのチャンネルを1画面で表示します。

2x2 3x3 4x4	画面表示を4/9/16分割画面に変更できます。 ※4CH製品の場合は、3x3や4x4ボタンの操作は必要ありません。
Pause / Resume	ライブ映像を一時静止/静止解除します。
Capture	ライブ映像をbmp形式の静止画でキャプチャーします。
	PTZカメラが接続している場合、パン/チルトの操作を行います。
Zoom+ Focus+ Zoom- Focus-	PTZカメラが接続している場合、ズーム/フォーカスの操作を行います。
Mute	ライブの音声を切にします。
	ネットワークの接続ステータスを表示します。
Full Screen	映像表示部をフルスクリーンで表示します。

● **検索モード**

検索画面のコントロールボタン

ボタン	説　明
	再生映像の録画時刻を表示します。
Connect / Disconnect	DVRとのネットワーク接続/切断状態を切換えます。
Live	Viewerの画面をライブモードに切換えます。
	チャンネルの番号をクリックするとそのチャンネルを1画面で表示します。

2x2 3x3 4x4	画面表示を4/9/16分割画面に変更できます。 ※4CH製品の場合は、3x3や4x4ボタンの操作は必要ありません。
Backup	Capture/Backupのダイアログを表示します。
	再生中の保存データをパソコンのハードディスクにバックアップします。 バックアップの開始点(From)と終了点(To)、バックアップファイルの保存先(File)、バックアップするチャンネル(Channel)を指定し、Okボタンをクリックすると、指定した保存先のフォルダーにバックアップファイルが avi 形式で保存されます。
Capture	再生映像をbmp形式の静止画でキャプチャーします。
Play Stop	検索映像を再生/中止します。
>> <<	再生中の映像を早送り/早戻しします。 クリックするごとにx2/x4/x8/x16に倍速が変わります。 正倍速に戻すには、Playボタンをクリックしてください。
I > < I	再生中の映像が一時静止し、クリックするごとに1コマ送り/1コマ戻しします。
> I I <	再生中の時点から1分先/前の映像にジャンプして再生します。
	検索する日付を選択するカレンダーです。 録画データがある日付は青文字で表示されます。 < / > をクリックするとカレンダーの表示が前月/次月に切り換わります。
	選択して検索日を24時間のタイムラインで表示します。 録画データのある時間帯は、青い線で表示されています。 スライドノブをドラッグ&ドロップで再生したい時間に移動し、Playボタンをクリックすると再生がはじまります。
Full Screen	映像表示部をフルスクリーンで表示します。

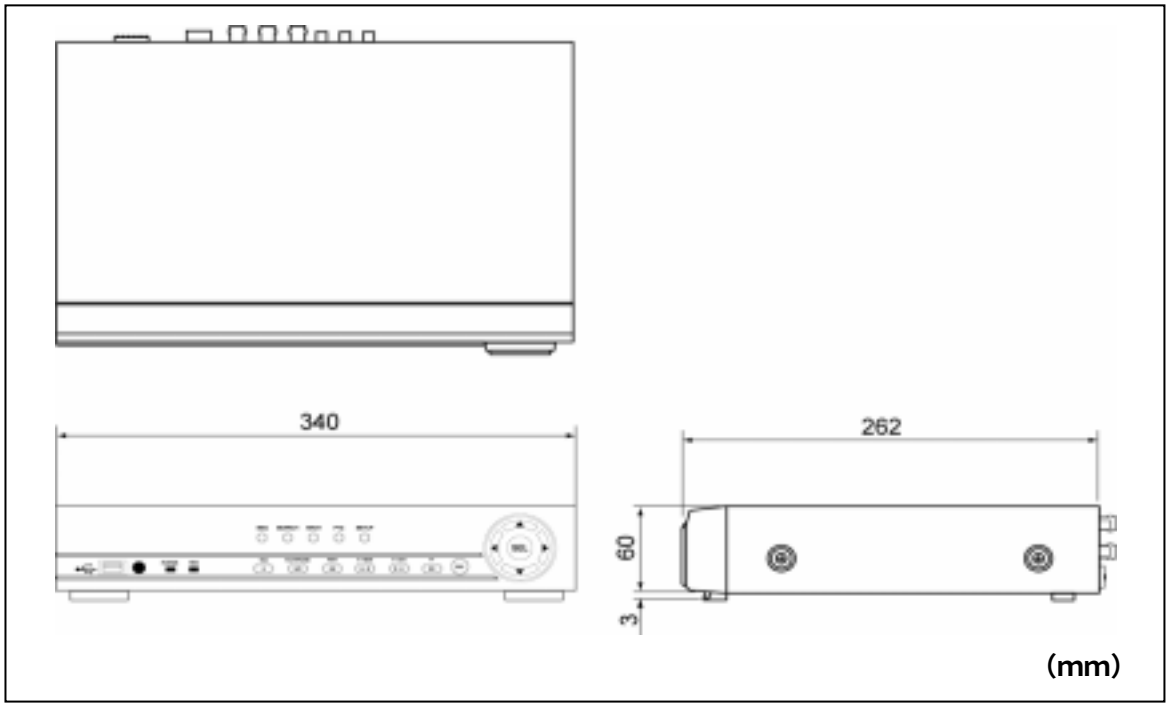
10. 録画時間目安表

解像度	録画画質	DVR-NS04HE　500GB 録画フレーム数(f/s)					
		120	90	60	30	15	10
704×480	最高	—	—	—	約 6 日	約 12 日	約 23 日
	高	—	—	—	約 7 日	約 13 日	約 26 日
	中	—	—	—	約 10 日	約 18 日	約 34 日
	標準	—	—	—	約 13 日	約 23 日	約 44 日
	ネットワーク	—	—	—	約 16 日	約 35 日	約 65 日
704×240	最高	—	—	約 8 日	約 14 日	約 49 日	約 62 日
	高	—	—	約 10 日	約 18 日	約 56 日	約 71 日
	中	—	—	約 15 日	約 28 日	約 74 日	約 93 日
	標準	—	—	約 22 日	約 40 日	約 96 日	約 119 日
	ネットワーク	—	—	約 41 日	約 80 日	約 141 日	約 173 日
352×240	最高	約 10 日	約 12 日	約 15 日	約 35 日	約 77 日	約 90 日
	高	約 13 日	約 16 日	約 20 日	約 41 日	約 88 日	約 103 日
	中	約 21 日	約 26 日	約 31 日	約 59 日	約 116 日	約 135 日
	標準	約 32 日	約 39 日	約 47 日	約 81 日	約 150 日	約 173 日
	ネットワーク	約 64 日	約 72 日	約 86 日	約 135 日	約 222 日	約 251 日

解像度	録画画質	DVR-NS04HE　1TB 録画フレーム数(f/s)					
		120	90	60	30	15	10
704×480	最高	—	—	—	約 14 日	約 24 日	約 46 日
	高	—	—	—	約 15 日	約 28 日	約 53 日
	中	—	—	—	約 21 日	約 37 日	約 69 日
	標準	—	—	—	約 27 日	約 47 日	約 89 日
	ネットワーク	—	—	—	約 34 日	約 71 日	約 132 日
704×240	最高	—	—	約 17 日	約 30 日	約 98 日	約 124 日
	高	—	—	約 21 日	約 38 日	約 114 日	約 143 日
	中	—	—	約 31 日	約 57 日	約 149 日	約 187 日
	標準	—	—	約 46 日	約 86 日	約 192 日	約 239 日
	ネットワーク	—	—	約 83 日	約 157 日	約 283 日	約 348 日
352×240	最高	約 21 日	約 26 日	約 32 日	約 71 日	約 154 日	約 181 日
	高	約 27 日	約 33 日	約 40 日	約 84 日	約 176 日	約 206 日
	中	約 42 日	約 52 日	約 62 日	約 118 日	約 232 日	約 270 日
	標準	約 65 日	約 79 日	約 95 日	約 164 日	約 301 日	約 346 日
	ネットワーク	約 128 日	約 145 日	約 173 日	約 271 日	約 446 日	約 504 日

※4チャンネルすべてに同時に同一の映像を入力した時のデータです。
※録画モードは「常時録画」です。
※被写体の変化により録画時間は変化しますので目安として下さい。

11. 外形図



きりとり

購入年月日	年　月　日	
型式	DVR-NS04HE	
お客様	ご住所 お名前 電話	
販売店	店名・住所	

保　証　書

1:保証期間はお買い上げ月日より１年です。
2:修理はお買い上げの販売店で受付いたしますので保証書を添えてお出しください。尚保証期間内でも、本保証書が提示のない場合や必要箇所の記入及び捺印のない場合。
その他次のような場合の修理は有料となります。
　使用方法の誤り、または乱用による故障。
　不当な修理、改造、分解掃除等による故障。
　天災（落雷、火災）による故障及び損傷。
3:修理品の運賃等、諸掛かり費用はお客様にてご負担願います。
4:本器の故障のため生じた２次的な事故は保証いたし兼ねます。
5:本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

タイワ インタストリ
■本社サービス 東京都大田区池上3-36-6
〒146-0082 TEL 03-3755-5645（代）
FAX 03-3755-2253

DAIWA industry co.,ltd.
株式会社ダイワインダストリ
セキュリティ事業部
〒146-0082 東京都大田区池上3-36-6
TEL/03-3755-5645　FAX/03-3755-2253
URL http://www.daiwa-industry.co.jp

201008